

# I-3 日本人の海外旅行

## ■ 2023年の概況

2023年の日本人出国者数は  
パンデミックによる減少から回復基調にあるが  
1,000万人に至らず

デミックの発生により出国者数は大きく減少し、2023年現在でも、2019年水準の50%にまだ至っていない(表I-3-1、図I-3-1)。

### (2) 主な要因

2020年初頭に発生した新型コロナウイルス感染症によるパンデミックにおける渡航制限のあおりがある中、全世界的な円安傾向が拍車をかけ、日本人の海外への渡航意欲が、減退していると推察される。

2024年1~6月の出国者数は5,798千人で前年同期比60.4%増、2019年同期比39.2%減となった(法務省「出入国管理統計」1~5月:月報、6月:速報値)。今後も、為替の影響等が懸念されるものの段階的に回復傾向になるものと期待される。

### (1) 日本人出国者の動向

法務省の「出入国管理統計」によると、日本人出国者数は2019年には過去最高記録の20,081千人となり、2017年3月に閣議決定した「観光立国推進基本計画」において定められた「2020年までに日本人の海外旅行者数を2,000万人にする」という目標を達成した。

しかし、その後、新型コロナウイルス感染症によるパン

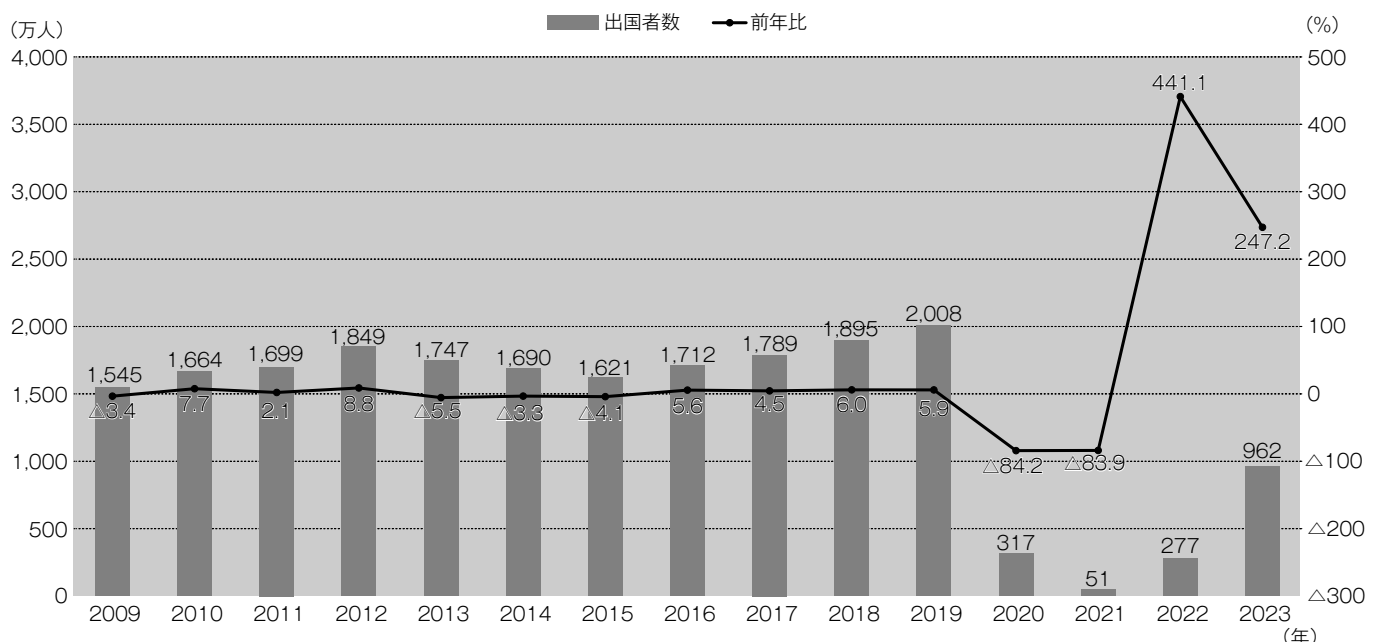
表 I-3-1 日本人出国者数の推移

(単位:千人)

	出国者数							
		観光・レクリエーション		帰省・知人訪問等		出張・業務		
		前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)			
2019年	20,081	5.94	14,257	4	1,494	47.3	4,330	2.1
2020年	3,174	△84.19	-	-	-	-	-	-
2021年	512	△83.86	-	-	-	-	-	-
2022年	2,772	441.10	-	-	-	-	-	-
2023年	9,624	247.22	6,615	-	918	-	2,091	-

(注1)各年の値は年間確報による。  
 (注2)出国者数は法務省統計の数値を用いた。目的別内訳は観光庁統計の数値を用いて推計した。  
 (注3)「旅行・観光消費動向調査」のうち「海外旅行」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020~2022年は海外旅行を実施した票を得られなかったため、年間値の該当数値は公表されていない。  
 資料:法務省「出入国管理統計」及び観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

図 I-3-1 日本人出国者数の推移



資料:法務省「出入国管理統計」をもとに(公財)日本交通公社作成

(3) 日本人出国者数の内訳

●性・年代別(表I-3-2, 図I-3-2)

2023年の出国者数は渡航制限の影響のあった前年を全体として上回った。年代別では、男女ともに70代以上の前年からの回復が著しい。

しかし、2019年時と比較すると、男性の30代~60代、女性の40代・60代以上を中心に、回復が鈍い。

旅行平均回数では、女性20代が0.21回となり、2019年以前同様、男女の他の世代を大きく引き離す。

一方で、男性の30代~50代の旅行平均回数が2019年時と比較し、最も回復が鈍く、出張・業務での渡航の頻度が抑えられていることが推察される。コロナ禍の影響で、オンラインミーティングの環境が整備され、海外出張については、現地に赴く必要性に応じて行っている現状があると考えられる。

表 I-3-2 性・年代別の日本人出国者数(2023年)

男性	年代								全体
	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	
延べ出国者数(千人)	194	289	701	773	996	1,048	607	326	4,932
前年比(%)	136.1	231.7	261.6	187.6	179.2	192.6	232.4	318.8	207.0
2019年比(%)	△48.8	△46.0	△48.2	△57.0	△58.6	△52.5	△53.4	△49.3	△53.6
旅行平均回数(回/人)	0.04	0.05	0.11	0.11	0.11	0.12	0.08	0.03	0.08
前年比(%)	142.1	235.3	260.0	192.5	187.1	185.1	238.2	313.3	208.3
2019年比(%)	△45.1	△44.3	△48.2	△55.1	△56.0	△55.9	△49.7	△52.2	△53.1

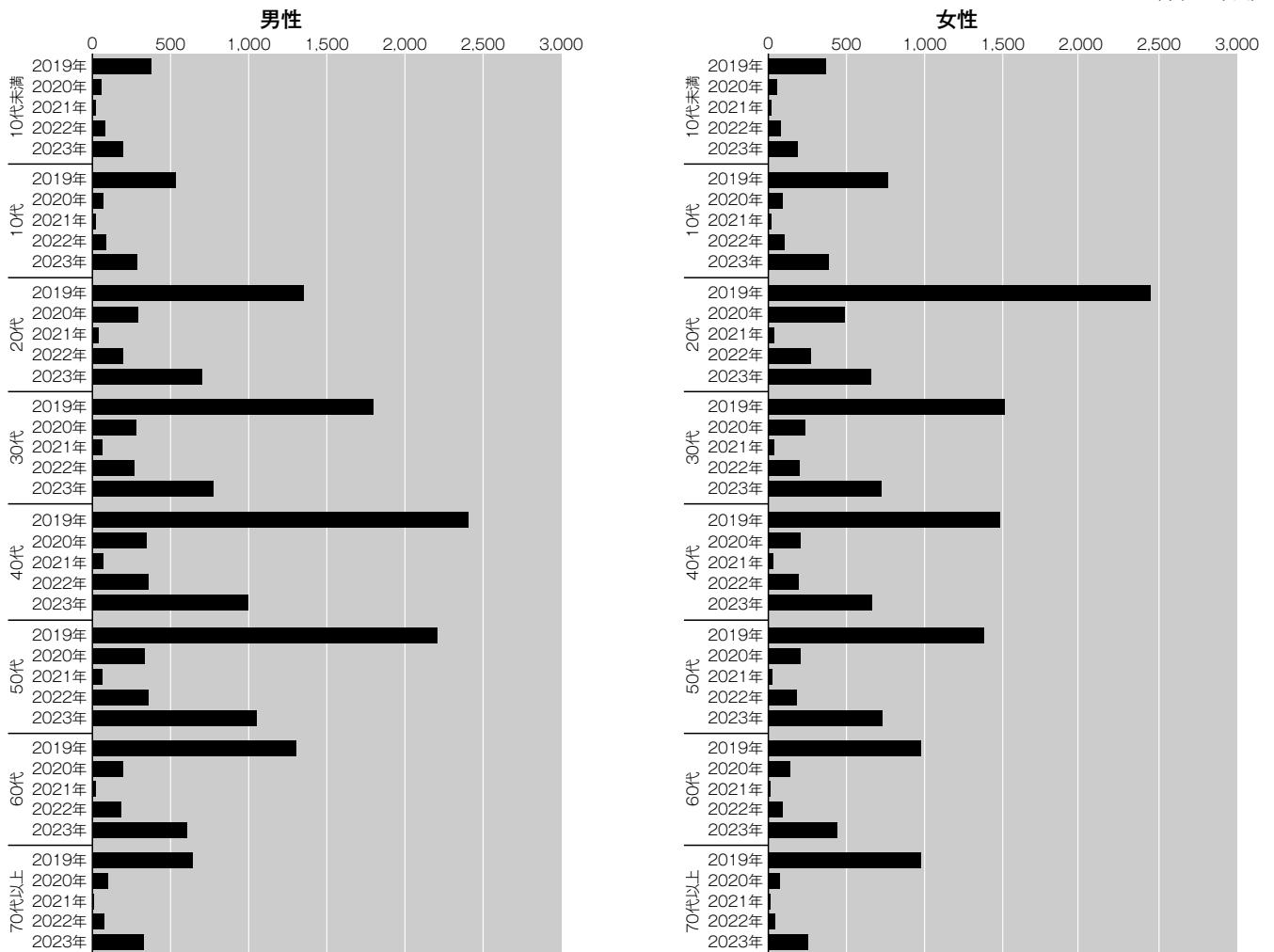
  

女性	年代								全体
	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	
延べ出国者数(千人)	189	387	661	727	666	732	440	253	4,692
前年比(%)	137.4	271.9	374.5	263.6	246.9	306.7	378.4	474.5	302.7
2019年比(%)	△49.0	△49.4	△46.9	△51.9	△55.1	△47.0	△55.0	△52.2	△50.4
旅行平均回数(回/人)	0.04	0.07	0.21	0.11	0.08	0.08	0.06	0.02	0.07
前年比(%)	143.4	275.9	374.2	270.8	256.8	297.0	388.0	467.7	304.5
2019年比(%)	△45.3	△47.7	△47.3	△49.5	△52.1	△50.7	△51.0	△54.6	△50.0

資料:法務省「出入国管理統計」及び総務省「人口推計」をもとに(公財)日本交通公社作成

図 I-3-2 性・年代別の日本人出国者数の推移(2019~2023年)

(単位:千人)



資料:法務省「出入国管理統計」をもとに(公財)日本交通公社作成

●出発月別(表I-3-3)

出国者数を出発月別に見てみると、コロナ禍から段階的に回復が見られるが、7月以降に大きな傾向が見られる。

夏休みという時期性、訪日旅行者の急激な回復、特に、中国からの団体旅行の解禁等のニュースもあり、日本人の海外渡航への意欲の増加が出てきた時期と推察される。

●居住地別(表I-3-4)

居住地別で見ると、すべての地域で前年を大きく上回った。

特に、北陸信越での前年からの回復伸長が著しい。一方2019年との比較では、北海道、東北、沖縄での回復が特に鈍い。国際線の復便が地方空港を中心に遅れており、その影響を受けているものと推察される。

表 I-3-3 出発月別の日本人出国者数(2023年)

出発月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全体
出国者全体	延べ出国者数(千人)	443	538	694	560	676	703	892	1,201	1,005	938	1,027	948	9,624
	前年比(%)	490.9	1045.7	882.3	333.7	404.1	310.0	220.8	210.8	214.8	168.3	170.9	119.3	247.2
	2019年比(%)	△69.5	△65.0	△64.0	△66.4	△53.0	△53.8	△46.3	△43.1	△42.6	△43.6	△37.5	△44.6	△52.1
	旅行平均回数(回/人)	0.004	0.004	0.006	0.004	0.005	0.006	0.007	0.010	0.008	0.008	0.008	0.008	0.077
観光・レクリエーション	延べ出国者数(千人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6,615
	前年比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2019年比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△53.6
	旅行平均回数(回/人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.053
帰省・知人訪問等	延べ出国者数(千人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	918
	前年比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2019年比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△38.5
	旅行平均回数(回/人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.007
出張・業務	延べ出国者数(千人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,091
	前年比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2019年比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△51.7
	旅行平均回数(回/人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.017

資料：法務省「出入国管理統計」、観光庁「旅行・観光消費動向調査」、総務省「人口推計」をもとに(公財)日本交通公社作成

表 I-3-4 居住地別の日本人出国者数(2023年)

居住地		北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全体
出国者全体	延べ出国者数(千人)	155	186	4,589	208	934	1,662	268	115	592	69	9,624
	前年比(%)	333.4	307.1	245.5	1103.0	303.7	333.0	340.3	368.1	411.4	302.9	247.2
	2019年比(%)	△73.5	△77.9	△49.0	△66.4	△63.3	△60.3	△55.3	△68.2	△42.6	△73.0	△52.1
	旅行平均回数(回/人)	0.030	0.022	0.104	0.033	0.060	0.082	0.038	0.032	0.047	0.047	0.077
観光・レクリエーション	延べ出国者数(千人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	前年比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2019年比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旅行平均回数(回/人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
帰省・知人訪問等	延べ出国者数(千人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	前年比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2019年比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旅行平均回数(回/人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出張・業務	延べ出国者数(千人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	前年比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2019年比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旅行平均回数(回/人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注)「外国」、「不詳」の区分が含まれていない関係により、居住地別の延べ出国者数の合計と全体の値は一致しない。

資料：法務省「出入国管理統計」、観光庁「旅行・観光消費動向調査」、総務省「人口推計」をもとに(公財)日本交通公社作成

**2 着地別(国・地域別)の旅行動向**  
 差異はあるもののコロナ禍からの回復基調が進む

(1) 着地別(国・地域別)の日本人出国者数(表I-3-5)

日本政府観光局(JNTO)の公表データをもとに日本人出国者数の近年の動向を見る。

コロナ禍の影響を受け、2020～2022年は2019年と比較して、

大きく減少している(2022年時でも、2019年時の10～25%水準)。直近、2022年では、主要な旅行先の中でも、「アメリカ(ハワイ州)」、「韓国」、一部東南アジアへの渡航が多く、これらの国・地域で上位10位を占めている。

ヨーロッパ諸国については、「ドイツ」等西ヨーロッパを中心にコロナ禍からの回復基調が確認でき、2022年時点で2019年時と比較して、20～30%水準となっている。前述のアメリカや韓国、東南アジア等と比較しても、渡航者のボリュームは少ないものの回復の割合は高い。

表 I-3-5 主要エリアへの日本人出国者数

(単位：人、%)

訪問先	2018年	前年比	2019年	前年比	2020年	前年比	2021年	前年比	2022年	前年比
アジア	中国	2,689,662	100.4	2,676,334	99.5	—	—	—	—	—
	韓国	2,948,527	127.6	3,271,706	111.0	430,742	13.2	15,265	3.5	296,867
	台湾	1,969,151	103.7	2,167,952	110.1	269,659	12.4	10,056	3.7	87,616
	タイ	1,655,996	107.2	1,806,438	109.1	322,677	17.9	24,279	7.5	—
	香港	852,192	104.8	660,883	77.6	23,341	3.5	334	1.4	7,077
	シンガポール	829,676	98.0	884,308	106.6	125,879	14.2	5,920	4.7	132,107
	ベトナム	826,674	103.6	951,962	115.2	205,274	21.6	9,300	4.5	174,720
	マレーシア	394,540	100.4	424,694	107.6	74,383	17.5	3,114	4.2	—
	インドネシア	530,573	92.5	519,623	97.9	92,228	17.7	5,952	6.5	73,913
	フィリピン	631,821	108.2	682,788	108.1	136,664	20.0	15,024	11.0	100,274
	マカオ	188,917	57.5	192,156	101.7	15,201	7.9	485	3.2	1,658
	インド	236,236	106.2	238,903	101.1	48,191	20.2	15,358	31.9	—
	カンボジア	210,471	103.5	207,636	98.7	41,257	19.9	2,011	4.9	29,733
トルコ	81,931	177.5	103,320	126.1	19,122	18.5	7,153	37.4	30,610	
オセアニア	グアム	566,588	91.3	687,566	121.4	144,291	21.0	4,184	2.9	23,659
	オーストラリア	469,233	108.0	498,645	106.3	91,701	18.4	1,864	2.0	79,382
	北マリアナ諸島	27,291	53.6	17,121	62.7	9,870	57.6	54	0.5	2,134
ヨーロッパ	ドイツ	613,248	104.9	614,638	100.2	95,782	15.6	28,001	29.2	132,213
	フランス	540,169	111.5	—	—	—	—	—	—	—
	スイス	211,945	93.4	212,617	100.3	17,138	8.1	5,714	33.3	36,361
	イタリア	384,004	99.5	372,979	97.1	83,839	22.5	14,350	17.1	101,422
	スペイン	547,182	123.8	677,658	123.8	112,916	16.7	29,368	26.0	124,290
	オーストリア	220,198	105.7	256,355	116.4	36,849	14.4	5,509	15.0	27,257
	イギリス	428,952	173.8	388,839	90.6	—	0.0	10,154	—	115,289
	オランダ	119,000	101.7	131,000	110.1	22,000	16.8	11,000	50.0	29,000
	クロアチア	159,574	112.3	150,217	94.1	7,360	4.9	4,770	64.8	11,856
	チェコ	129,119	112.3	147,760	114.4	25,301	17.1	5,221	20.6	22,283
	ベルギー	84,508	123.8	92,207	109.1	14,428	15.6	5,272	36.5	19,732
	フィンランド	113,000	90.7	119,104	105.4	26,201	22.0	5,897	22.5	16,298
ロシア	105,251	103.4	112,286	106.7	12,822	11.4	—	—	—	
北中米	アメリカ	3,493,313	97.2	3,752,980	107.4	696,727	18.6	121,519	17.4	597,330
	(ハワイ州)	1,489,778	93.8	1,576,205	105.8	289,138	18.3	18,936	6.5	192,562
	カナダ	260,755	85.7	260,374	99.9	31,626	12.1	11,473	36.3	53,216
	メキシコ	156,471	103.6	153,894	98.4	41,349	26.9	27,423	66.3	51,985

(注1) アメリカの数値には、アメリカ合衆国本土(全米50州とコロンビア特別区)への入国者のほか、北マリアナ諸島、グアム、米領サモア、プエルトリコ、米領バージン諸島等への地域への入域者を含む。  
 (注2) 本表には国境到着者数、ホテル到着者数等の統計が混在しており、集計基準が異なるため、同一指標としての比較はできない。  
 (注3) 一部のデータは未公表のため非掲載。

資料：日本政府観光局公表データをもとに(公財)日本交通公社作成

(2) 着地別(国・地域別)の旅行内容

ここでは、観光・レクリエーションを目的とする海外旅行に  
しほり、日本人の海外旅行の実態を詳しく見ていく。なお、分  
析に用いた表データはすべて「JTBF 旅行実態調査」(6ページ  
参照)による。

① 旅行先とマーケットセグメント(表I-3-6)

同行者タイプについては、全体では「夫婦・カップル」が最  
も多く、次いで「家族」、「ひとり」、「友人」、の順となった。「夫  
婦・カップル」の中でもシェアが高いのが「夫婦旅行(子どもな  
し)」であり、全体の約15%を占めている。

セグメント別の旅行先を見ると、「家族旅行」での旅行先  
は高い順に、「グアム・サイパン」(40.3%)、「シンガポール」  
(39.6%)、「ハワイ」(35.2%)となり、特に子ども連れや3世代旅

行の場合にはグアム・サイパンやハワイ等、ビーチリゾートが  
選択される傾向にある。

「夫婦・カップル旅行」では、カップルや子どものいない夫婦  
旅行と子育て後の夫婦旅行で傾向が異なる。前者では「南太  
平洋」や「グアム・サイパン」及びヨーロッパの割合が高い一  
方で、後者では、「カナダ」、東南アジア、ヨーロッパの傾向が高  
い。子育て中の夫婦旅行は実施割合自体が小さく、全体のう  
ち2.1%となった。

「友人旅行」では、アクセスのしやすい東アジア、東南アジア  
の割合が比較的高く、特に「韓国」や「タイ」、「インドネシア(バ  
リ)」が多く選択されている。

「ひとり旅」では、全体的に女性よりも男性の割合が高いが、  
男性は「カナダ」や東南アジア、女性は「ドイツ」や「イギリス」、  
「その他東南アジア」の割合が高い結果となった。

表I-3-6 旅行先(国・地域)別のマーケットセグメント(同行者×ライフステージ)

(単位: %)

同行者 旅行先	家族旅行					夫婦・カップル旅行					友人旅行						ひとり旅			サ ン プ ル 数				
	子ども連れ		大人の み	3 世代*	カ ッ プ ル	夫 婦 旅 行 (子 ども な し)	子 育 て 中	子 育 て 後	男性			女性			男 性	女 性	そ の 他							
	(小 中 高 生 を 含 ま な い)	乳 幼 児 連 れ							小 中 高 生 連 れ	未 婚	既 婚 (子 ども な し)	子 育 て 中	子 育 て 後	未 婚				既 婚 (子 ども な し)	子 育 て 中		子 育 て 後			
2023年	24.1	4.0	8.2	11.9	5.0	33.0	6.9	14.5	2.1	9.5	19.3	4.7	0.5	1.1	1.2	8.2	1.4	1.8	0.5	19.5	11.6	7.9	4.1	(2,001)
2019年	22.8	3.3	8.8	10.7	5.1	35.5	6.6	11.0	2.6	15.3	22.4	4.3	0.9	1.4	2.5	6.5	1.5	0.7	4.7	17.2	10.4	6.8	2.1	(4,559)
韓国	26.4	3.0	8.5	15.0	5.4	22.2	7.9	6.3	3.1	4.9	29.5	5.1	0.6	0.6	0.5	15.7	3.4	2.2	1.3	17.0	8.2	8.8	5.0	(517)
中国	33.6	11.7	10.7	11.2	12.5	26.3	6.9	5.9	8.9	4.6	11.0	2.5	3.0	0.0	0.0	2.9	2.7	0.0	0.0	20.9	9.7	11.2	8.2	(42)
台湾	23.9	3.8	5.8	14.3	4.7	33.8	6.7	11.8	2.4	12.9	18.1	5.5	1.3	0.9	0.7	5.9	1.9	2.0	0.0	17.4	11.6	5.8	6.8	(287)
香港・マカオ	23.7	7.3	6.2	10.2	8.1	28.5	10.3	7.0	6.3	4.9	21.0	4.9	0.0	5.2	0.0	9.1	0.0	1.8	0.0	26.8	11.2	15.6	0.0	(62)
シンガポール	39.6	10.4	9.5	19.7	11.1	32.7	5.7	17.6	4.6	4.8	12.7	3.3	0.0	0.0	1.4	8.0	0.0	0.0	0.0	12.6	11.0	1.6	2.4	(90)
インドネシア	22.1	0.0	15.2	6.9	8.7	55.2	11.6	30.2	2.0	11.4	9.4	2.8	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	1.8	0.0	11.2	6.4	4.8	2.0	(41)
マレーシア	20.8	1.7	8.8	10.3	4.9	36.4	10.1	3.5	3.5	19.2	10.1	7.2	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	28.5	23.3	5.2	4.2	(43)
タイ	18.3	3.8	5.6	8.9	2.6	26.2	8.0	10.0	0.9	7.3	25.0	6.3	1.2	3.8	6.1	6.3	0.6	0.9	0.0	29.7	22.9	6.8	0.7	(177)
ベトナム	20.3	4.6	7.6	8.1	3.5	36.4	7.4	10.4	1.8	16.7	13.3	4.8	2.0	0.0	1.0	4.1	0.6	0.9	0.0	29.4	22.6	6.7	0.6	(94)
フィリピン	25.1	9.9	5.1	10.1	16.7	30.1	9.6	8.7	0.0	11.7	21.4	7.6	0.0	3.5	3.7	6.5	0.0	0.0	0.0	23.4	21.7	1.7	0.0	(57)
インドネシア (バリ)	30.6	16.8	0.0	13.8	0.0	38.1	0.0	24.9	0.0	13.2	31.3	14.2	0.0	0.0	0.0	8.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(9)
その他東南アジア	10.3	0.0	0.0	10.3	0.0	29.4	2.8	4.3	0.0	22.2	16.7	6.1	0.0	1.5	0.0	3.4	0.0	5.7	0.0	34.8	18.4	16.4	8.9	(38)
オーストラリア・ ニュージーランド	24.8	4.7	3.5	16.6	1.9	28.9	5.3	15.4	1.3	6.9	15.4	4.3	0.0	2.0	1.3	7.8	0.0	0.0	0.0	25.3	15.1	10.2	5.5	(64)
南太平洋 (タヒチ・フィジー・ ニューカレドニア等)	26.9	17.2	9.7	0.0	9.7	43.0	0.0	16.7	11.0	15.4	20.3	20.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.7	9.7	0.0	0.0	(7)
ハワイ	35.2	6.9	13.0	15.3	11.5	46.6	8.4	26.1	3.1	8.9	8.8	1.5	0.3	0.3	1.3	2.5	1.1	1.8	0.0	5.9	4.0	1.9	3.5	(176)
グアム・サイパン	40.3	4.7	21.2	14.4	11.2	36.2	8.3	24.2	2.1	1.6	9.9	2.1	1.6	2.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	7.6	7.6	0.0	6.0	(42)
アメリカ合衆国本土	15.2	1.2	8.3	5.7	1.8	43.2	11.4	22.3	1.1	8.4	18.3	7.0	0.0	0.5	0.0	7.5	1.0	2.2	0.0	20.9	15.1	5.8	2.4	(116)
カナダ	14.7	0.0	7.4	7.4	0.0	39.9	3.5	12.2	0.0	24.3	5.8	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	39.6	29.3	10.3	0.0	(19)
フランス	21.2	9.2	3.9	8.0	0.0	51.3	5.7	33.7	1.1	10.9	7.4	1.5	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	18.4	16.9	1.5	1.7	(58)
イギリス	11.8	0.0	5.2	6.6	0.0	35.9	0.0	16.9	1.9	17.2	19.3	5.0	0.0	0.0	1.7	12.7	0.0	0.0	0.0	29.3	13.2	16.1	3.6	(40)
スペイン	15.9	3.8	7.5	4.5	0.0	38.8	5.8	27.4	0.0	5.7	24.5	10.9	0.0	0.0	2.1	3.9	0.0	7.6	0.0	14.9	11.2	3.7	5.9	(36)
イタリア	21.8	6.8	1.8	13.2	5.8	36.0	3.7	25.6	0.0	6.7	12.1	0.0	0.0	1.2	0.0	6.3	0.0	0.0	4.6	25.8	13.0	12.9	4.3	(48)
ドイツ	17.7	2.8	6.1	8.8	6.4	28.9	1.7	17.0	1.5	8.7	6.2	2.2	2.2	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	40.8	12.7	28.0	6.4	(39)
その他ヨーロッパ	13.4	0.0	4.2	9.2	3.5	43.9	1.4	20.2	0.0	22.4	13.4	5.8	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.9	0.0	23.1	10.5	12.6	6.2	(74)
その他	10.5	0.0	3.4	7.1	3.3	45.2	0.0	26.4	1.7	17.1	22.2	6.7	1.9	0.0	1.3	4.8	0.0	7.5	0.0	16.4	4.4	12.0	5.7	(67)

(注)旅行先別については、1回の旅行につき、複数の旅行先(国・地域)を訪れたデータを含む。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している。資料:(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」  
※3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する。

■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い

②着地別(国・地域別)と居住地(表I-3-7)

旅行者の居住地については、全体で見ると、人口の多い「南関東」が42.6%、「近畿」が18.2%、「東海」及び「九州・沖縄」が9.1～10.8%を占める。この傾向はコロナ禍前の2019年とほぼ同様であるが、とりわけ「南関東」の割合が大きくなっている(30.7%→42.6%)。

一方、旅行先別に見た際の、国内旅行で顕著な近隣居住者が大きな割合を占める特徴については、海外旅行では旅行先までの距離の相対的な差が縮まるため、ほとんど表れない。

ただし、「韓国」、「台湾」の割合が「九州・沖縄」居住者において相対的に高いのは、距離の近さや福岡から海路が通じていることが影響していると推察される。

「南関東」では「マレーシア」、「インドネシア(バリ)」が全体よりも20ポイント以上高く、「東海」では「南太平洋」、「近畿」では「インドネシア」、「中国」では「フィリピン」の比率が高くなっており、2019年時とは国内の地域によって、訪問傾向に差異が発生している。

表 I-3-7 旅行先(国・地域)別の旅行者居住地

(単位：%)

居住地	北海道	北東北	南東北	北関東	南関東	甲信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	サンプル数
		青森県 岩手県 秋田県	宮城県 山形県 福島県	茨城県 群馬県 栃木県	埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	新潟県 山梨県 長野県	富山県 石川県 福井県	岐阜県 静岡県 愛知県 三重県	滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県	徳島県 香川県 愛媛県 高知県	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県	
2023年	3.3	1.3	2.4	2.6	42.6	3.0	1.3	10.8	18.2	3.6	1.8	9.1	(2,001)
2019年	4.5	2.8	4.1	4.6	30.7	3.8	2.5	11.3	16.7	4.6	2.9	11.5	(4,559)
韓国	3.4	1.3	2.9	1.6	35.5	2.9	0.8	11.4	22.6	3.2	2.3	12.1	(517)
中国	0.0	2.3	1.5	9.6	52.7	0.0	2.0	15.0	8.4	1.7	0.0	6.8	(42)
台湾	5.3	1.7	3.4	2.3	40.1	4.6	1.9	7.1	16.2	3.4	1.5	12.5	(287)
香港・マカオ	2.0	2.9	2.5	4.0	45.5	4.7	0.0	12.9	14.1	1.1	4.0	6.3	(62)
シンガポール	3.5	2.7	1.7	3.4	48.3	0.7	0.0	5.9	18.0	7.2	0.0	8.6	(90)
インドネシア	0.0	2.7	2.7	2.0	35.5	0.0	0.0	18.4	29.6	1.5	2.1	5.5	(41)
マレーシア	0.0	2.7	0.0	0.0	65.7	0.0	0.0	6.3	16.2	3.9	0.0	5.2	(43)
タイ	6.2	1.4	1.7	2.8	41.3	6.5	2.2	10.4	13.7	5.8	0.0	7.9	(177)
ベトナム	3.2	1.6	0.9	4.2	40.0	2.0	0.0	15.3	21.5	1.3	4.2	6.0	(94)
フィリピン	0.0	2.0	2.6	1.5	35.6	3.1	1.4	16.7	18.3	9.7	0.0	9.1	(57)
インドネシア(バリ)	0.0	0.0	0.0	13.2	68.5	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0	0.0	11.0	(9)
その他東南アジア	1.7	2.8	0.0	3.9	41.6	3.3	1.9	8.8	15.2	4.0	2.8	14.0	(38)
オーストラリア・ ニュージーランド	1.3	0.0	1.3	2.0	41.0	1.9	4.1	8.5	16.1	5.8	5.5	12.5	(64)
南太平洋 (タヒチ・フィジー・ ニューカレドニア等)	0.0	0.0	9.7	0.0	26.4	0.0	0.0	35.7	28.2	0.0	0.0	0.0	(7)
ハワイ	4.4	0.7	2.4	3.1	49.0	2.4	2.6	8.6	15.7	3.3	3.1	4.6	(176)
Guam・サイパン	0.0	0.0	2.0	5.1	34.9	8.7	0.0	18.4	20.3	1.6	3.4	5.7	(42)
アメリカ合衆国本土	5.7	0.0	1.9	1.3	53.6	3.0	1.2	8.2	20.8	2.0	0.0	2.3	(116)
カナダ	3.5	0.0	0.0	0.0	49.3	5.8	0.0	18.0	23.4	0.0	0.0	0.0	(19)
フランス	1.1	1.1	0.0	2.5	53.2	2.9	0.0	19.0	17.4	0.0	0.0	2.8	(58)
イギリス	3.6	0.0	0.0	1.9	46.3	0.0	2.9	18.2	16.6	2.4	0.0	8.2	(40)
スペイン	0.0	0.0	0.0	3.1	46.1	4.1	0.0	12.6	19.4	5.7	3.5	5.6	(36)
イタリア	0.0	1.4	3.9	1.8	43.0	0.0	0.0	16.3	24.0	0.0	0.0	9.6	(48)
ドイツ	0.0	0.0	3.2	0.0	48.4	1.7	0.0	14.9	16.2	3.2	0.0	12.3	(39)
その他ヨーロッパ	0.9	0.9	1.7	3.7	41.7	3.9	1.6	6.4	19.5	1.4	3.2	15.1	(74)
その他	1.8	2.0	0.0	5.3	38.7	4.3	1.9	5.3	23.6	8.1	0.0	9.2	(67)

(注) 旅行先別については、1回の旅行につき、複数の旅行先(国・地域)を訪問したデータを含む。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している。

■全体の比率より15ポイント以上高い

■全体の比率より10ポイント以上高い

■全体の比率より5ポイント以上高い

資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」

③旅行先と最も楽しみにしていたこと(表I-3-8)

最も楽しみにしていたことについては、旅行先によって大きく傾向が分かれる結果となった。全体で見ると、「おいしいものを食べること」が最も多く23.3%、次いで「文化的な名所を見ること」(14.1%)、「街や都市を訪れること」(12.4%)、「自然景観を見ること」(11.0%)の順で10%を超える割合となっている。

「おいしいものを食べること」については、東アジアの国々への旅行で多く挙がり、高い順に「台湾」(39.9%)、「韓国」(37.7%)、「香港・マカオ」(30.4%)となり、前年度とほとんど同様の傾向となった。

「文化的な名所を見ること」では、「その他東南アジア」(58.7%)のほか、「スペイン」(40.9%)、「ドイツ」(29.1%)等の

ヨーロッパをはじめ、「タイ」(24.0%)へ旅行の場合に多く挙げられた。

「自然景観を見ること」では、「オーストラリア・ニュージーランド」(42.5%)、「カナダ」(38.0%)への旅行で特に多く挙げられ、次いで「その他ヨーロッパ」(31.5%)、「ハワイ」(21.8%)で比較的多く挙げられた。

「街や都市を訪れること」では、「イギリス」(29.1%)、「フランス」(25.6%)、「シンガポール」(25.4%)、「イタリア」(23.9%)への旅行で特に多い結果となった。

そのほか、「スポーツやアウトドア活動を楽しむこと」での「グアム・サイパン」(35.1%)、「自然の豊かさを体験すること」での「南太平洋」(58.2%)が、全体よりも30ポイント以上高い値となった。

表 I-3-8 旅行先(国・地域)別の最も楽しみにしていたこと

(単位：%)

旅行先	最も楽しみにしていたこと	(史跡、寺社仏閣等)を見ること	自然景観を見ること	観光・文化施設(水族館や美術館、テーマパーク等)を訪れること	スポーツやアウトドア活動を楽しむこと	街や都市を訪れること	自然の豊かさを体験すること	地域の文化を体験すること	エステ・スパ・マッサージを受けること	おいしいものを食べること	買い物をする	地域の祭りやイベント	帰省・冠婚葬祭関連、親族や知人訪問	目当ての宿泊施設に泊まること	芸術・音楽・スポーツ等の観劇・鑑賞・観戦	その他	サンプル数
2023年		14.1	11.0	5.9	5.1	12.4	3.9	3.0	2.5	23.3	7.2	1.0	3.2	1.8	2.6	2.9	(2,001)
2019年		17.7	13.5	7.5	5.1	12.2	3.8	2.5	2.2	18.2	8.3	1.1	2.3	1.5	2.3	1.9	(4,559)
韓国		9.1	3.5	6.3	1.0	7.3	1.2	2.5	4.4	37.7	16.8	1.0	1.7	0.8	4.7	2.0	(484)
中国		20.2	15.5	8.4	4.5	9.6	0.0	7.5	0.0	9.8	4.9	0.0	9.8	0.0	0.0	9.6	(25)
台湾		17.3	6.1	5.8	1.3	15.2	0.3	1.7	0.5	39.9	5.2	0.0	3.0	0.3	1.5	1.9	(260)
香港・マカオ		9.0	7.2	14.6	6.3	17.6	3.3	3.9	1.6	30.4	1.3	0.0	0.0	2.5	0.0	2.4	(45)
シンガポール		9.7	11.2	22.7	3.2	25.4	2.9	2.8	0.0	10.6	1.8	2.0	0.0	1.8	4.8	1.1	(66)
インドネシア		8.9	15.6	3.7	10.0	8.8	20.5	4.0	5.1	16.6	0.0	0.0	0.0	6.8	0.0	0.0	(30)
マレーシア		3.2	10.7	10.9	8.0	16.0	0.0	9.3	8.6	9.2	2.9	0.0	9.9	4.8	0.0	6.7	(23)
タイ		24.0	5.1	3.6	6.3	10.8	3.4	3.5	5.3	24.6	6.5	0.9	2.9	0.0	0.4	2.6	(144)
ベトナム		22.4	11.2	0.8	0.0	14.5	5.4	6.5	2.1	21.1	3.3	2.1	5.5	2.8	0.0	2.3	(72)
フィリピン		5.7	11.3	2.5	15.5	8.8	7.1	1.2	10.9	5.6	5.1	0.0	11.0	8.4	0.0	6.9	(46)
インドネシア(バリ)		0.0	14.6	21.3	0.0	12.9	0.0	17.7	22.9	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	(6)
その他東南アジア		58.7	8.4	0.0	0.0	0.0	9.1	7.9	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	3.4	4.4	0.0	(25)
オーストラリア・ニュージーランド		4.2	42.5	5.3	2.7	10.0	10.5	3.2	1.4	3.0	2.8	0.0	6.6	0.0	0.0	8.0	(57)
南太平洋(タヒチ・フィジー・ニューカレドニア等)		0.0	13.5	0.0	0.0	0.0	58.2	0.0	0.0	28.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(5)
ハワイ		4.6	21.8	2.6	9.4	7.7	11.5	1.5	0.7	16.6	9.4	1.1	2.5	3.9	0.0	6.6	(167)
グアム・サイパン		0.0	17.6	0.0	35.1	0.0	10.5	2.3	1.8	7.2	8.4	0.0	0.0	17.2	0.0	0.0	(38)
アメリカ合衆国本土		5.9	10.4	14.6	12.5	18.4	4.9	1.3	1.3	7.2	2.0	0.0	6.1	1.0	10.5	4.1	(105)
カナダ		9.5	38.0	0.0	4.5	0.0	7.4	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	21.7	0.0	9.5	0.0	(14)
フランス		17.7	6.1	7.3	10.5	25.6	0.0	5.1	0.0	6.7	5.8	0.0	5.1	0.0	10.3	0.0	(28)
イギリス		14.1	10.4	11.6	0.0	29.1	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	10.7	0.0	8.2	(17)
スペイン		40.9	6.9	3.7	5.6	14.2	0.0	3.0	0.0	22.6	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	(24)
イタリア		20.8	12.7	0.0	3.1	23.9	3.5	0.0	2.9	18.6	0.0	0.0	4.2	4.2	6.1	0.0	(27)
ドイツ		29.1	14.9	7.8	0.0	7.8	0.0	3.6	0.0	20.0	0.0	3.6	6.7	0.0	3.8	2.6	(22)
その他ヨーロッパ		24.7	31.5	0.0	4.2	17.7	7.2	2.1	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	4.1	(51)
その他		29.1	13.9	3.0	9.9	10.5	3.8	9.0	0.0	2.5	0.0	4.6	7.5	1.1	0.0	5.1	(54)

(注)旅行先別については、1回の旅行につき、単一の旅行先(国・地域)を訪問したデータのみ。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している。資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」

■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い

④旅行先(国・地域)別の交通手段(表I-3-9)

1回の旅行につき複数の旅行先へ行った場合を含め、旅行先での主な交通手段を見ると、全体では多い順に「列車」(50.5%)、「タクシー・ハイヤー・その他配車サービス」(37.5%)、「路線バス」(25.9%)、「飛行機」(25.0%)となった。

旅行先の国・地域によって傾向が分かれており、「列車」は「フランス」(85.3%)、「イギリス」(78.1%)、「ドイツ」(76.7%)等ヨーロッパ諸国、「台湾」(72.5%)等で高い利用率となった。

「タクシー・ハイヤー・その他配車サービス」の利用は、「インドネシア(バリ)」(65.7%)、「タイ」(60.2%)、「南太平洋」(56.4%)、「フィリピン」(56.3%)で高い利用率となった。

「路線バス」は、「イギリス」(46.3%)、「スペイン」(44.9%)、「南太平洋」(41.0%)、「ドイツ」(39.1%)で高い利用率となった。

「飛行機」は「南太平洋」(64.3%)、「スペイン」(51.2%)、「マレーシア」(46.9%)、「カナダ」(44.1%)で高い利用率となった。

表I-3-9 旅行先(国・地域)別の旅行先での交通手段(複数回答)

(単位：%)

交通手段	飛行機	(鉄道・地下鉄・路面電車・モノレール等)	列車	貸切バス・定期観光バス	路線バス	観光客向けの巡回バス等	タクシー・ハイヤー・その他配車サービス	ウーバー (一般的なドライバーが自家用車を使用し行うライドシェアリングサービス)	レンタサイクル	船(フェリー、観光船等)	その他	交通機関は利用しなかった	サンプル数
2023年	25.0	50.5	10.2	14.3	25.9	9.0	37.5	9.2	1.7	6.2	2.6	1.3	(2,001)
2019年	-	31.7	8.5	22.0	19.8	11.5	32.5	-	1.9	9.3	4.0	1.3	(4,559)
韓国	22.9	70.0	4.7	7.7	27.5	5.0	33.8	1.8	0.8	1.1	0.8	1.1	(517)
中国	40.2	57.4	17.0	13.2	17.9	3.5	44.5	15.0	2.9	4.3	0.0	0.0	(42)
台湾	14.5	72.5	5.9	17.7	33.6	5.3	34.4	5.2	3.1	2.4	2.5	1.2	(287)
香港・マカオ	35.9	65.6	6.2	4.8	27.6	11.2	31.8	8.9	1.3	18.5	0.0	0.0	(62)
シンガポール	20.7	60.0	10.0	8.0	28.6	6.1	51.4	14.5	0.8	2.6	1.2	0.0	(90)
インドネシア	38.6	16.1	13.6	5.1	7.1	6.4	46.9	18.8	0.0	0.0	5.5	11.7	(41)
マレーシア	46.9	51.2	9.5	9.8	25.2	14.2	50.6	18.9	1.7	5.6	7.5	0.0	(43)
タイ	19.5	56.1	6.1	6.4	23.9	5.3	60.2	10.6	2.5	15.6	3.1	0.7	(177)
ベトナム	28.9	11.0	6.8	19.8	24.8	10.6	50.6	23.2	1.6	6.2	7.2	0.8	(94)
フィリピン	25.6	13.2	12.5	7.7	16.4	7.3	56.3	11.9	5.2	11.5	7.3	3.1	(57)
インドネシア(バリ)	6.5	16.8	24.2	13.8	0.0	0.0	65.7	0.0	7.4	0.0	0.0	0.0	(9)
その他東南アジア	25.1	24.7	2.8	37.1	15.8	11.9	19.4	14.6	0.0	12.0	13.8	1.9	(38)
オーストラリア・ニュージーランド	42.1	41.3	31.1	18.6	13.7	13.5	21.1	10.6	2.3	18.0	3.4	1.4	(64)
南太平洋 (タヒチ・フィジー・ニューカレドニア等)	64.3	17.2	0.0	0.0	41.0	0.0	56.4	0.0	20.3	62.1	17.2	0.0	(7)
ハワイ	25.1	5.2	32.3	9.5	32.8	32.7	41.5	15.5	2.3	3.7	1.3	0.5	(176)
グアム・サイパン	24.0	4.4	21.6	9.5	20.0	34.6	42.7	0.0	2.1	1.6	0.0	3.4	(42)
アメリカ合衆国本土	40.4	32.8	22.9	8.2	15.5	6.6	26.4	29.6	3.2	5.9	6.4	2.3	(116)
カナダ	44.1	43.1	16.2	15.7	25.8	4.8	24.2	23.7	0.0	15.9	5.8	0.0	(19)
フランス	39.7	85.3	12.3	21.0	35.5	10.2	37.3	8.2	2.0	11.2	5.8	0.0	(58)
イギリス	41.8	78.1	9.1	15.8	46.3	1.9	30.6	7.2	5.9	12.9	1.9	1.9	(40)
スペイン	51.2	57.6	14.9	31.5	44.9	10.1	19.5	5.9	0.0	10.0	2.1	0.0	(36)
イタリア	39.5	68.6	4.6	33.8	27.6	3.1	25.0	5.1	0.0	14.8	6.6	0.0	(48)
ドイツ	33.4	76.7	7.7	14.1	39.1	8.9	29.8	9.1	0.0	6.4	1.7	0.0	(39)
その他ヨーロッパ	22.7	67.0	8.1	35.9	35.7	7.2	19.1	8.1	1.6	22.8	3.0	(0)	(74)
その他	39.5	28.6	8.4	46.8	16.9	2.4	26.6	19.2	0.0	15.2	8.9	(1)	(67)

(注)旅行先別については、1回の旅行につき、複数の旅行先(国・地域)を訪問したデータを含む。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している。資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」  
 ■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い



⑤旅行先と宿泊施設(表I-3-10)

旅行先で利用した主な宿泊施設を見ると全体では「ホテル」(83.0%)が大半を占めている。その内訳は、「シティホテル」(37.8%)、「リゾートホテル」(29.1%)、「ビジネスホテル」(16.1%)となった。

旅行先別に見ると、ヨーロッパ諸国、「台湾」、「タイ」では「シティホテル」の利用が他の旅行先に比べて高いことがわかる。一方で、「リゾートホテル」は利用率の高い順に「南太平洋」や

「グアム・サイパン」、「インドネシア(バリ)」、「ハワイ」等の海浜リゾート需要の高い国・地域で特に高い。これらの傾向は、現地で楽しんだ活動(表I-3-13)と連動している。

そのほか、「ペンション・B&B・ロッジ」の利用は「イギリス」、「ドイツ」で、「別荘・リゾートマンション・会員制の宿泊施設」は「ハワイ」、「ゲストハウス・ドミトリー」は「イギリス」、「ベトナム」で全体の比率よりも5ポイント以上高い利用率となった。

表 I-3-10 旅行先(国・地域)別の宿泊施設(複数回答)

(単位：%)

宿泊施設	ホテル											その他	サンプル数
	シティホテル	ビジネスホテル	リゾートホテル	B&B・ペンション・ロッジ	オートキャンプ・キャンブ	別荘・リゾートマンション・会員制の宿泊施設	民泊	ゲストハウス・ドミトリー	実家・親戚・知人宅				
2023年	84.6	44.0	19.7	34.2	5.4	2.5	4.9	4.3	6.1	7.3	3.9	(2,001)	
2019年	88.6	43.3	13.0	40.0	3.6	1.0	2.7	—	4.4	3.7	2.5	(4,559)	
韓国	81.4	50.5	29.6	14.3	5.0	4.4	5.2	6.2	9.9	8.0	7.8	(484)	
中国	82.5	33.6	31.1	22.7	2.6	2.3	7.2	0.0	0.0	10.0	0.0	(25)	
台湾	90.2	54.1	31.6	20.3	3.2	2.8	2.9	4.7	5.7	6.9	4.7	(260)	
香港・マカオ	87.5	46.5	21.2	33.3	4.0	2.8	2.8	4.3	8.1	5.2	4.2	(45)	
シンガポール	93.3	43.5	12.6	48.4	1.3	1.3	2.3	3.2	1.3	5.3	1.3	(66)	
インドネシア	82.3	10.7	11.9	67.6	12.0	2.0	3.7	0.0	0.0	2.0	2.8	(30)	
マレーシア	78.2	31.7	23.0	33.5	5.0	5.0	10.5	8.8	5.0	14.7	8.0	(23)	
タイ	91.0	54.9	11.6	31.3	2.9	0.5	0.4	3.1	3.8	2.6	2.0	(144)	
ベトナム	87.0	42.6	18.4	39.0	7.3	1.6	1.6	1.6	12.0	8.2	2.4	(72)	
フィリピン	82.1	40.2	11.0	50.6	13.0	4.1	9.3	4.1	3.1	10.5	0.0	(46)	
インドネシア(バリ)	100.0	12.9	0.0	87.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(6)	
その他東南アジア	89.1	39.3	18.5	57.0	4.4	5.1	0.0	0.0	0.0	5.8	0.0	(25)	
オーストラリア・ニュージーランド	81.5	48.4	18.2	31.5	11.9	0.0	2.2	1.0	5.3	15.2	0.0	(57)	
南太平洋(タヒチ・フィジー・ニューカレドニア等)	100.0	13.5	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(5)	
ハワイ	81.0	10.8	2.5	71.4	0.8	0.0	18.3	1.3	0.4	3.3	0.0	(167)	
グアム・サイパン	96.6	9.1	0.0	91.5	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	(38)	
アメリカ合衆国本土	78.8	42.4	14.2	35.7	7.2	2.2	5.4	5.6	7.2	13.5	3.5	(105)	
カナダ	71.5	32.5	7.4	31.6	7.4	0.0	0.0	4.1	9.5	14.9	5.4	(14)	
フランス	89.7	70.1	8.9	22.1	6.7	0.0	0.0	7.9	4.0	9.9	0.0	(28)	
イギリス	74.1	40.6	21.9	37.6	18.7	4.6	0.0	20.1	15.7	4.6	0.0	(17)	
スペイン	79.9	58.6	20.5	28.6	11.2	0.0	0.0	3.7	7.9	5.2	2.7	(24)	
イタリア	82.5	52.3	0.0	39.0	7.5	0.0	0.0	0.0	3.1	15.8	0.0	(27)	
ドイツ	54.2	35.3	11.9	7.0	18.4	2.6	0.0	3.6	9.5	19.4	0.0	(22)	
その他ヨーロッパ	89.8	53.1	11.4	45.4	9.0	0.0	0.0	3.1	6.9	6.3	1.3	(51)	
その他	86.7	52.8	8.5	55.6	0.0	2.9	1.1	2.3	2.2	5.7	9.8	(54)	

(注)旅行先別については、1回の旅行につき、単一の旅行先(国・地域)を訪問したデータのみ。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している。資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」  
 ■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い

⑥旅行先と宿泊数(表I-3-11)

旅行先での宿泊数について全体で見ると、「3泊」が最も多く(24.2%)、次いで「2泊」(16.4%)、「4泊」(15.5%)、「5泊」(10.7%)となった。

旅行先別には、基本的に遠方の旅行先ほど宿泊数が多い傾向にあり、ヨーロッパ諸国では6泊以上の滞在が60%以上を占めている。東南アジアや「オーストラリア・ニュージーランド」、「南太平洋」、「ハワイ」、「グアム・サイパン」等への旅行では、3

～5泊の滞在、近隣の東アジア諸国では比較的短期の旅行が中心であり、特に「韓国」、「香港・マカオ」への旅行者のそれぞれ65%以上が2～3泊の滞在となった。

そのほか特徴的な傾向として、「フィリピン」や「インドネシア(バリ)」への旅行では3～4泊が最も多い層であるが、中国では10泊を超える長期滞在の割合が20%以上を占め、平均宿泊数も全体平均よりも0.5泊以上多い結果となった。

表I-3-11 旅行先(国・地域)別の宿泊数

(単位:%) (単位:泊)

旅行先	宿泊数												平均宿泊数 (概数)	サンプル数
	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8～9泊	10～13泊	14～20泊	21～27泊	28泊以上		
2023年	3.9	16.4	24.2	15.5	10.7	6.9	7.0	6.2	4.2	2.3	0.8	1.9	5.28	(2,001)
2019年	3.1	15.6	25.1	14.7	10.0	7.9	9.0	7.1	3.8	1.6	0.5	1.6	5.16	(4,559)
韓国	10.4	39.1	31.2	7.9	3.6	2.4	1.4	2.3	0.7	0.0	0.1	0.9	3.12	(484)
中国	4.9	14.6	29.7	11.7	7.5	2.6	0.0	4.9	14.4	9.6	0.0	0.0	5.94	(25)
台湾	5.0	23.1	38.1	11.3	7.7	5.5	1.4	3.8	1.3	1.6	0.6	0.6	3.97	(260)
香港・マカオ	7.1	20.8	48.1	8.3	2.8	2.5	5.3	2.7	0.0	2.5	0.0	0.0	3.57	(45)
シンガポール	3.2	19.1	27.2	27.2	16.6	0.9	1.8	0.9	0.0	1.3	0.0	1.8	4.12	(66)
インドネシア	0.0	8.0	18.7	21.8	9.4	15.4	13.7	6.6	6.3	0.0	0.0	0.0	5.24	(30)
マレーシア	5.0	16.8	17.0	22.2	13.9	5.5	7.7	0.0	0.0	3.8	0.0	8.0	6.24	(23)
タイ	0.0	8.7	27.0	19.7	16.9	5.1	8.3	2.8	4.6	3.4	2.1	1.4	5.75	(144)
ベトナム	1.6	7.0	27.9	34.4	6.4	8.6	6.9	4.6	0.8	1.7	0.0	0.0	4.47	(72)
フィリピン	0.0	4.8	19.9	21.7	12.4	7.5	5.4	17.5	3.4	4.0	1.7	1.7	6.45	(46)
インドネシア(バリ)	0.0	22.9	25.1	39.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.9	0.0	5.87	(6)
その他東南アジア	0.0	7.3	17.1	38.5	17.6	7.8	4.4	4.4	0.0	0.0	0.0	2.9	5.04	(25)
オーストラリア・ニュージーランド	1.4	2.7	15.8	16.8	26.7	5.4	12.8	9.4	1.5	5.5	0.0	2.0	6.25	(57)
南太平洋 (タヒチ・フィジー・ ニューカレドニア等)	0.0	0.0	36.7	0.0	49.8	0.0	0.0	13.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.74	(5)
ハワイ	0.9	3.0	13.6	20.3	23.3	12.3	13.4	5.8	4.2	2.0	0.0	1.1	5.76	(167)
グアム・サイパン	0.0	9.3	43.0	35.3	7.2	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	3.4	4.40	(38)
アメリカ合衆国本土	2.5	1.7	18.8	14.5	11.3	11.8	18.2	5.9	3.6	5.0	2.8	3.8	7.27	(105)
カナダ	0.0	7.4	0.0	16.9	29.1	8.6	0.0	16.9	11.6	0.0	9.5	0.0	7.84	(14)
フランス	0.0	0.0	13.0	14.6	20.2	7.8	19.7	7.8	6.7	3.8	4.0	2.4	7.54	(28)
イギリス	0.0	0.0	12.7	24.8	6.9	18.5	8.8	5.7	8.2	0.0	0.0	14.4	8.90	(17)
スペイン	0.0	0.0	8.8	17.2	3.3	20.4	20.9	5.7	18.5	5.2	0.0	0.0	7.30	(24)
イタリア	0.0	3.5	7.3	6.8	5.4	21.9	15.9	23.7	11.1	4.4	0.0	0.0	7.30	(27)
ドイツ	5.2	6.4	0.0	15.5	6.2	10.9	27.7	5.1	5.5	12.6	0.0	4.8	8.27	(22)
その他ヨーロッパ	0.0	8.3	0.0	17.0	6.2	12.8	15.0	30.3	7.0	1.3	0.0	2.2	7.19	(51)
その他	1.9	0.0	8.5	6.5	14.7	10.9	19.8	20.2	16.2	0.0	1.4	0.0	7.21	(54)

(注)旅行先別については、1回の旅行につき、単一の旅行先(国・地域)を訪問したデータのみ。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している。資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」  
 ■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い  
 ■平均宿泊数が全体平均値より0.5泊以上多い(平均宿泊数については、28泊以上は28泊と仮定して算出)

⑦旅行先と旅行費用(表I-3-12)

交通費や宿泊費、飲食代、土産代等を含めた旅行1回一人当たりの総費用については、前項の旅行宿泊数と類似の傾向であり、平均費用(概数)で見ると、東アジアや東南アジアでは比較的低く(平均費用は10万~20万円台前半)、ヨーロッパ諸国、「アメリカ合衆国本土」、「カナダ」、「オーストラリア・ニュージーランド」、「ハワイ」、「南太平洋」で高くなっている(平均費用は35万円以上)。「イギリス」、「ドイツ」、「カナダ」への旅行においては「100万円以上」が旅行先全体の平均よりも10ポイント以上高くなっており、旅行先それぞれの平均費用(概数)

を引き上げている。

東アジア諸国の中でも特に「韓国」、「台湾」では10万円未満の旅行がそれぞれ約45%、34%を占めており、距離的・价格的なアクセスのしやすさが表れているといえる。ただし、コロナ禍前と比較すると、10万円未満の割合はそれぞれ20%程度減少している。

他方、価格帯別のばらつきは、「その他東南アジア」、「アメリカ合衆国本土」、「イタリア」、「その他ヨーロッパ」で比較的大きくなり、これらの旅行先では幅広い価格帯の旅行が実施されていることがわかる。

表 I-3-12 旅行先(国・地域)別の旅行費用価格帯

(単位: %) (単位: 万円)

旅行先	消費額															平均費用(概数)	サンプル数
	3万円未満	3万円以上5万円未満	5万円以上7万円未満	7万円以上10万円未満	10万円以上15万円未満	15万円以上20万円未満	20万円以上30万円未満	30万円以上40万円未満	40万円以上50万円未満	50万円以上60万円未満	60万円以上70万円未満	70万円以上80万円未満	80万円以上90万円未満	90万円以上100万円未満	100万円以上		
2023年	1.2	3.0	7.0	11.6	18.1	13.0	13.7	8.6	5.5	5.8	2.8	2.3	1.2	1.4	4.7	28.8	(1,938)
2019年	2.0	5.5	8.0	12.1	14.8	13.3	15.5	9.9	5.5	5.1	2.1	1.5	1.0	1.0	2.8	24.9	(4,434)
韓国	2.0	8.1	15.4	21.6	29.3	10.8	5.9	3.1	1.2	1.3	0.2	0.8	0.2	0.2	0.0	13.6	(462)
中国	8.1	3.8	10.4	5.5	18.6	17.0	13.1	10.8	7.3	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.1	(23)
台湾	0.2	2.9	10.7	20.8	28.0	15.5	14.7	2.9	1.1	1.8	0.5	0.0	0.3	0.0	0.6	16.1	(257)
香港・マカオ	0.0	2.8	11.1	21.5	19.4	13.3	15.9	4.1	0.0	2.8	2.5	0.0	2.7	2.7	1.3	22.0	(47)
シンガポール	0.0	0.0	6.4	8.1	12.0	19.9	15.9	8.9	9.1	5.4	3.0	2.0	2.0	1.2	6.2	32.7	(61)
インドネシア	0.0	0.0	0.0	13.1	10.8	7.7	23.7	15.5	5.1	12.1	4.0	2.2	3.7	0.0	2.0	33.5	(30)
マレーシア	0.0	5.3	3.0	5.0	25.2	27.4	8.8	10.0	7.0	8.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	(22)
タイ	0.6	2.0	5.9	11.5	17.8	21.4	22.5	10.1	0.4	3.4	1.1	1.8	0.0	0.5	1.0	22.1	(132)
ベトナム	5.8	2.7	5.9	13.3	27.5	19.1	13.8	7.4	1.4	0.0	0.0	0.9	0.8	0.0	1.4	17.9	(73)
フィリピン	0.0	3.2	2.5	5.1	24.3	28.0	15.0	3.6	13.7	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	23.1	(47)
インドネシア(バリ)	0.0	0.0	0.0	0.0	12.9	76.5	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.6	(6)
その他東南アジア	2.9	2.4	0.0	4.4	9.4	19.2	25.7	10.2	7.3	8.0	0.0	7.8	2.9	0.0	0.0	31.0	(25)
オーストラリア・ニュージーランド	0.0	3.9	0.0	0.0	3.9	5.4	21.8	21.9	15.6	13.9	3.8	1.5	2.3	0.0	6.0	40.9	(55)
南太平洋(タヒチ・フィジー・ニュージーランド等)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.2	28.3	13.5	0.0	34.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.1	(5)
ハワイ	0.0	0.0	2.3	1.4	4.8	9.5	20.0	17.5	10.9	7.0	6.8	3.9	2.2	4.4	9.2	45.0	(165)
グアム・サイパン	0.0	0.0	0.0	6.7	13.4	20.9	17.6	8.6	7.7	5.4	3.3	7.3	2.0	3.5	3.8	36.1	(37)
アメリカ合衆国本土	1.1	0.0	0.6	2.0	10.3	9.0	12.4	13.6	12.5	10.6	7.0	3.5	1.3	3.6	12.5	46.6	(97)
カナダ	0.0	0.0	0.0	0.0	13.8	0.0	0.0	0.0	4.4	34.9	0.0	0.0	8.0	15.9	23.0	67.8	(15)
フランス	5.6	0.0	0.0	0.0	3.2	7.8	0.0	17.7	18.8	6.2	4.0	9.8	5.6	0.0	21.5	56.1	(27)
イギリス	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	13.0	6.0	12.7	6.9	23.9	0.0	8.2	0.0	0.0	24.2	55.2	(14)
スペイン	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	6.2	26.3	16.1	22.0	13.5	6.2	0.0	0.0	4.2	2.8	41.5	(21)
イタリア	0.0	0.0	0.0	11.2	8.4	3.3	6.5	7.7	10.8	6.3	11.2	5.8	4.6	5.8	18.5	54.7	(26)
ドイツ	5.2	0.0	0.0	3.8	5.2	3.6	26.9	5.2	9.3	10.7	3.8	0.0	0.0	2.6	23.6	48.9	(23)
その他ヨーロッパ	1.2	0.0	0.0	0.0	6.7	2.3	11.7	9.3	6.8	19.3	11.9	14.2	2.6	0.0	14.1	55.8	(50)
その他	0.0	0.0	0.0	2.6	2.4	2.4	16.5	20.1	14.4	10.1	6.6	1.7	3.6	2.1	17.6	52	(52)

(注)旅行先別については、1回の旅行につき、単一の旅行先(国・地域)を訪問したデータのみ。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している。資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」  
 ■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い

⑧旅行先と現地で楽しんだ活動(表I-3-13)

現地で楽しんだ活動では、「町並み散策・まち歩き」(49.1%)、「現地グルメ・名物料理」(47.4%)、「ショッピング・買い物」(45.2%)、「都市観光・都会見物」(39.2%)、「歴史・文化的な名所の訪問」(38.0%)、「自然や景勝地の訪問」(37.8%)が多くなっている。

旅行先別に見てみると、ヨーロッパの国々では選択肢のいずれの旅行先でも、「歴史・文化的な名所の訪問」、「都市観光・都会見物」、「美術館・博物館」を楽しみにしていたという割合が、その他旅行先を含めた全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。「町並み散歩・まち歩き」も、「ドイツ」を除いたいずれの国でも10ポイント以上高い値である。

表 I-3-13 旅行先(国・地域)別の現地活動(複数回答)

現地活動	自然や景勝地の訪問	歴史・文化的な名所の訪問	都市観光・都会見物	町並み散策・まち歩き	温泉	祭り・イベント	季節の花見	リゾート滞在(海浜)	リゾート滞在(高原)	テーマパーク・レジャーランド	観光施設・動物園・水族館	美術館・博物館	ショッピング・買い物	現地グルメ・名物料理	(観劇・コンサート・ライブ等)芸術鑑賞	スポーツ観戦	(陶芸体験、そば打ち体験等)生活文化体験	果物狩り・農林漁業体験
旅行先																		
2023年	42.4	42.6	44.0	55.0	3.5	8.1	2.5	13.2	3.3	7.1	11.2	14.4	50.7	53.2	5.7	3.1	1.5	0.5
2019年	45.3	43.2	42.0	47.2	3.4	5.8	2.6	13.3	2.3	6.7	11.4	14.3	46.9	45.6	5.9	1.6	1.3	0.8
韓国	21.5	30.9	35.7	51.9	3.9	5.1	2.0	2.7	2.0	5.4	5.8	6.3	61.6	61.8	8.0	0.7	1.9	1.2
中国	30.1	35.7	39.4	37.5	4.9	9.1	7.2	9.6	6.9	4.5	17.0	23.8	22.2	36.5	2.3	0.0	4.5	0.0
台湾	47.9	58.7	54.4	65.8	6.2	7.8	1.5	0.9	2.3	2.4	12.4	24.1	51.8	59.6	2.1	1.2	1.9	0.3
香港・マカオ	25.9	33.9	27.7	38.1	3.6	9.5	0.0	0.0	2.7	24.6	5.0	10.2	27.7	43.7	0.0	0.0	0.0	0.0
シンガポール	36.4	37.2	53.0	56.9	2.2	13.4	3.4	8.6	3.4	27.8	34.7	12.7	39.6	45.5	4.6	4.8	4.5	0.0
インドネシア	42.5	27.5	12.4	45.6	0.0	5.1	0.0	55.3	8.3	2.0	3.9	0.0	47.7	46.2	11.9	0.0	2.8	0.0
マレーシア	43.9	31.2	36.4	51.6	0.0	0.0	11.4	15.1	4.4	10.9	18.0	22.6	46.3	46.2	0.0	0.0	0.0	0.0
タイ	38.3	41.8	35.5	45.7	1.6	7.2	1.0	12.7	1.8	7.1	9.4	2.9	54.7	60.4	1.8	1.6	0.9	0.6
ベトナム	49.2	51.4	55.7	71.0	0.0	7.1	0.0	14.9	2.1	9.7	9.0	12.1	48.6	67.3	4.9	0.0	2.6	0.0
フィリピン	40.5	33.8	20.4	40.7	2.5	1.7	2.5	46.2	7.7	11.9	14.5	7.6	32.9	36.2	0.0	0.0	0.0	0.0
インドネシア(バリ)	14.6	40.7	51.9	62.4	21.3	44.2	21.3	42.9	25.1	0.0	0.0	0.0	53.6	51.2	30.6	0.0	0.0	0.0
その他東南アジア	76.0	87.7	27.3	38.2	0.0	0.0	0.0	2.9	5.2	0.0	0.0	8.8	19.1	32.7	4.4	0.0	5.1	0.0
オーストラリア・ニュージーランド	77.2	37.8	53.1	58.1	1.2	6.6	1.4	16.1	9.7	1.4	31.9	14.0	57.3	59.8	1.2	3.3	2.8	0.0
南太平洋(タヒチ・フィジー・ニューカレドニア等)	76.8	13.5	13.5	41.8	0.0	0.0	0.0	86.5	0.0	0.0	13.5	0.0	41.8	76.8	28.3	0.0	0.0	0.0
ハワイ	58.7	25.1	39.6	56.1	2.4	13.7	4.6	55.3	3.5	6.0	8.1	8.2	59.1	53.6	2.9	1.4	0.0	0.0
グアム・サイパン	37.9	20.2	25.4	42.0	0.0	0.0	0.0	46.4	0.0	8.7	8.0	0.0	48.4	37.4	1.9	0.0	0.0	0.0
アメリカ合衆国本土	40.4	28.3	47.7	34.7	1.5	5.6	0.0	6.1	1.4	18.6	11.2	10.4	42.4	35.4	8.7	21.0	0.7	0.6
カナダ	79.5	21.0	21.0	19.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	16.9	14.8	11.0	40.6	14.9	5.4	0.0	0.0
フランス	43.3	65.0	60.2	80.6	0.0	7.8	0.0	0.0	0.0	6.5	19.1	50.2	55.7	63.1	14.8	15.5	0.0	0.0
イギリス	36.2	54.7	52.8	62.6	0.0	0.0	0.0	5.7	0.0	0.0	10.2	28.7	40.2	29.6	0.0	6.0	4.1	0.0
スペイン	56.8	63.5	66.8	64.9	3.0	11.9	3.3	10.8	6.3	5.6	6.0	42.2	44.7	54.6	23.9	8.7	5.7	3.0
イタリア	57.4	65.1	59.7	70.0	0.0	8.4	6.6	2.1	10.3	0.0	13.7	35.4	53.8	52.4	8.4	2.6	4.2	0.0
ドイツ	42.7	56.8	63.9	53.6	0.0	21.2	2.6	0.0	0.0	10.5	20.2	22.5	34.1	28.6	7.0	6.7	0.0	0.0
その他ヨーロッパ	77.0	78.1	73.9	79.8	2.1	8.9	1.4	7.8	5.8	0.0	7.4	29.4	42.7	39.6	3.4	1.9	1.9	0.0
その他	69.8	71.4	50.6	55.5	10.4	5.8	0.0	15.3	0.0	1.9	11.8	21.8	36.4	35.6	1.9	1.4	1.9	0.0

(注)旅行先別については、1回の旅行につき、単一の旅行先(国・地域)を訪問したデータのみ。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している。  
 ■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い

「南太平洋」、「ハワイ」、「グアム・サイパン」、「インドネシア」、「インドネシア(バリ)」、「フィリピン」では「リゾート滞在(海浜)」、「海水浴・マリンスポーツ」の値が全体よりも15ポイント以上高く、マリリゾートが大きな旅行先であることが伺える。

その他特徴的な点として、「香港・マカオ」、「シンガポール」

では「テーマパーク・レジャーランド」が、「シンガポール」、「オーストラリア・ニュージーランド」では「観光施設・動物園・水族館」が全体よりも15ポイント以上高くなっている。「オーストラリア・ニュージーランド」への旅行では「アウトドア体験」や「登山・トレッキング」、「野生動物観察」等のアウトドア需要があることも確認される。

(単位：%)

(カヌー、乗馬体験、気球等)	野生動物観察(クジラ、鳥等)	登山・トレッキング	海水浴・マリンスポーツ	スキー・スノーボード	マラソン・ジョギング	ゴルフ	写真・写生	スパ・エステ	ドライブ	サイクリング	世界遺産訪問	産業観光(工場見学、ものづくりの現場見学等)	家族や親戚、友人・知人訪問	その他	体験プログラム等の参加率	サンプル数	現地活動
																	旅行先
4.1	1.8	4.6	7.8	0.5	0.5	2.0	5.1	7.5	2.8	1.4	12.6	1.4	7.5	1.7	28.0	(2,001)	2023年
3.4	2.0	2.9	8.2	0.4	0.6	1.9	5.4	6.0	2.9	1.0	14.5	1.5	4.5	1.1	36.3	(4,559)	2019年
1.0	0.5	1.4	0.5	0.5	0.3	0.0	4.9	9.9	1.1	1.0	4.3	0.6	6.0	1.0	14.6	(484)	韓国
2.3	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	4.9	9.6	2.6	2.3	17.1	4.9	9.4	4.7	17.8	(25)	中国
0.3	0.4	3.0	0.6	0.7	0.4	0.0	3.8	3.7	1.2	0.5	6.2	1.8	5.8	0.0	23.8	(260)	台湾
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	1.6	0.0	0.0	2.8	0.0	2.5	0.0	15.8	(45)	香港・マカオ
3.4	2.3	1.1	4.1	0.0	0.0	1.1	4.0	2.2	2.2	3.1	5.9	1.1	4.8	1.1	27.6	(66)	シンガポール
4.0	0.0	0.0	34.9	0.0	0.0	9.1	4.2	25.8	0.0	0.0	6.0	0.0	2.8	0.0	36.7	(30)	インドネシア
4.8	11.0	7.7	9.6	0.0	0.0	5.8	14.7	0.0	4.8	5.0	11.9	0.0	20.1	2.9	35.4	(23)	マレーシア
2.8	0.5	0.0	8.9	0.0	0.5	5.9	2.2	16.9	0.5	3.0	10.2	0.9	6.3	2.7	22.5	(144)	タイ
4.1	0.0	0.8	6.2	0.0	0.0	3.4	5.1	17.0	0.0	3.3	29.5	5.3	7.9	0.0	47.8	(72)	ベトナム
9.6	5.9	5.6	38.9	2.5	0.0	3.4	4.3	21.1	1.7	0.0	4.7	0.0	16.9	2.7	24.9	(46)	フィリピン
0.0	0.0	0.0	34.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.9	(6)	インドネシア(バリ)
0.0	6.3	2.6	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5	0.0	0.0	0.0	47.8	(25)	その他東南アジア
22.7	14.9	16.2	11.6	0.0	0.0	3.0	6.4	1.3	15.0	0.0	25.2	0.0	16.0	2.3	65.4	(57)	オーストラリア・ニュージーランド
0.0	0.0	0.0	55.3	0.0	0.0	0.0	13.5	28.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.6	(5)	南太平洋(タヒチ・フィジー・ニューカレドニア等)
10.6	4.6	14.8	26.8	0.4	0.5	6.2	4.1	7.6	10.1	2.0	5.4	0.9	3.7	2.7	43.9	(167)	ハワイ
5.2	4.0	0.0	58.3	0.0	0.0	12.3	3.9	3.3	3.0	0.0	0.0	0.0	1.8	1.6	33.8	(38)	グアム・サイパン
4.5	0.0	5.1	1.3	1.3	1.2	3.3	6.7	0.7	5.3	2.2	6.9	1.0	11.9	6.8	20.8	(105)	アメリカ合衆国本土
7.4	0.0	24.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0	14.9	7.4	40.4	(14)	カナダ
0.0	0.0	4.0	0.0	2.9	4.0	0.0	2.9	0.0	2.0	0.0	24.0	0.0	17.7	0.0	25.5	(28)	フランス
0.0	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	18.7	0.0	5.7	4.6	21.9	4.1	18.5	4.1	11.1	(17)	イギリス
3.0	0.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	14.6	6.0	3.0	0.0	38.4	0.0	0.0	0.0	38.5	(24)	スペイン
4.1	0.0	13.1	0.0	3.1	0.0	0.0	8.4	0.0	0.0	4.2	32.8	3.9	8.4	0.0	19.0	(27)	イタリア
0.0	0.0	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.2	0.0	0.0	0.0	12.6	10.8	14.1	0.0	12.2	(22)	ドイツ
1.1	1.3	23.6	0.0	0.0	2.3	0.0	5.0	0.0	1.1	0.0	40.0	0.0	3.0	3.8	34.5	(51)	その他ヨーロッパ
17.1	0.0	8.0	11.7	1.9	0.0	1.9	7.5	5.5	4.5	0.0	57.0	9.6	10.6	2.9	44.1	(54)	その他

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

⑨旅行先と満足度・再来訪意向(表I-3-14)

旅行先での満足度を見ると、全体での「大変満足」の割合が48.5%と、2019年時と比較して4.9%上昇している。不満足層(「やや不満」+「不満」+「大変不満」)の割合は合わせて1.2%のみであり、海外旅行者の95.8%は旅行に満足している(「大変満足」+「満足」+「やや満足」)。

「大変満足」の割合は「アメリカ合衆国本土」への旅行で最も高く(63.5%)、全旅行先平均よりも15ポイント高くなった。満足度指数(満足度を指数化した得点)で見ると「フランス」(6.59)、「イタリア」(6.50)、「オーストラリア・ニュージーランド」(6.48)、「ハワイ」(6.42)が上位となった。

再来訪意向(5年以内に当該地域を再び訪れたいか)については、再来訪希望層(「大変そう思う」+「そう思う」+「やや思う」)は全体で81.6%となった。

「大変そう思う」の割合が最も高いのは「ハワイ」(62.4%)であり、次いで「タイ」(52.7%)、「韓国」(51.7%)となった。再来訪意向指数についても同様に、高い順に「ハワイ」(6.48)、「タイ」(6.16)、「韓国」(6.10)となった。

図I-3-3から、「ハワイ」、「イタリア」、「フランス」、「タイ」が満足度と再来訪意向の双方が高いということがわかる。これらの国・地域は、旅行先での経験に加えて、日本からの行きやすさも備えていると考えられる。

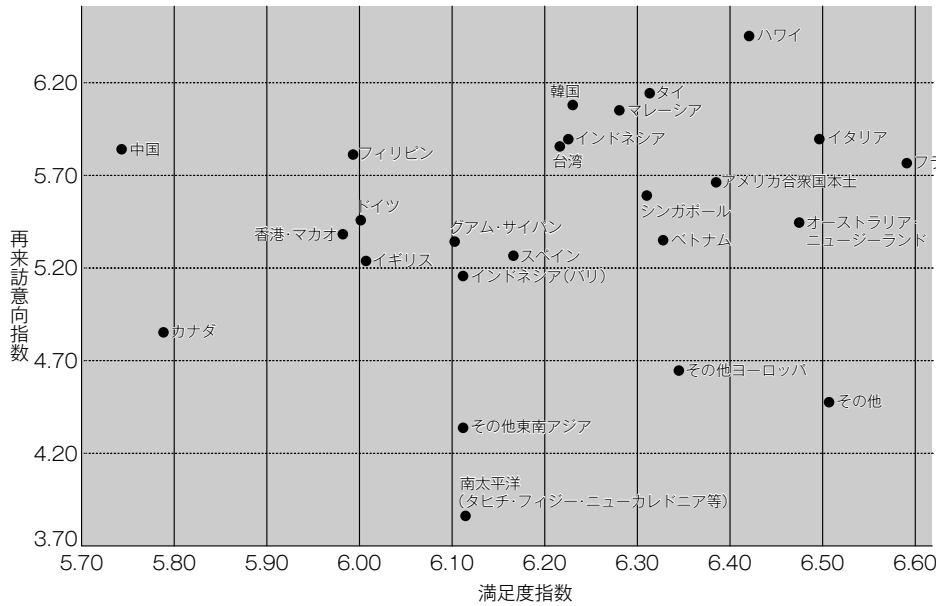
表 I-3-14 旅行先(国・地域)別の満足度・再来訪意向

(単位：%)

旅行先	満足度							満足度指数	サンプル数
	大変満足	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	大変不満		
2023年	48.5	35.6	11.7	3.1	0.8	0.1	0.3	6.26	(2,001)
2019年	43.6	38.6	12.9	3.2	0.9	0.2	0.6	6.18	(4,559)
韓国	47.8	34.8	12.4	3.7	1.1	0.1	0.2	6.23	(484)
中国	25.5	40.4	19.3	12.5	2.3	0.0	0.0	5.74	(25)
台湾	46.5	35.6	13.3	3.3	0.8	0.0	0.4	6.22	(260)
香港・マカオ	26.4	48.0	23.1	2.6	0.0	0.0	0.0	5.98	(45)
シンガポール	48.2	35.6	15.0	1.1	0.0	0.0	0.0	6.31	(66)
インドネシア	43.3	42.2	11.5	0.0	2.9	0.0	0.0	6.23	(30)
マレーシア	42.9	42.4	14.6	0.0	0.0	0.0	0.0	6.28	(23)
タイ	47.9	40.4	9.2	1.5	0.0	0.5	0.5	6.31	(144)
ベトナム	50.7	33.4	13.8	2.1	0.0	0.0	0.0	6.33	(72)
フィリピン	43.6	24.8	19.9	10.4	1.2	0.0	0.0	5.99	(46)
インドネシア(バリ)	32.3	46.4	21.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.11	(6)
その他東南アジア	49.3	25.0	19.6	0.0	6.1	0.0	0.0	6.11	(25)
オーストラリア・ニュージーランド	55.6	36.4	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.48	(57)
南太平洋 (タヒチ・フィジー・ニューカレドニア等)	34.9	41.8	23.2	0.0	0.0	0.0	0.0	6.12	(5)
ハワイ	54.3	35.9	7.8	1.6	0.4	0.0	0.0	6.42	(167)
グアム・サイパン	30.9	54.6	8.4	6.2	0.0	0.0	0.0	6.10	(38)
アメリカ合衆国本土	63.5	20.9	10.6	3.5	0.0	0.0	1.5	6.38	(105)
カナダ	30.9	33.8	18.4	16.9	0.0	0.0	0.0	5.79	(14)
フランス	61.4	36.4	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	6.59	(28)
イギリス	21.3	62.3	12.3	4.1	0.0	0.0	0.0	6.01	(17)
スペイン	42.7	33.7	21.0	2.7	0.0	0.0	0.0	6.16	(24)
イタリア	58.7	35.3	3.1	2.9	0.0	0.0	0.0	6.50	(27)
ドイツ	43.6	39.9	7.8	0.0	3.8	0.0	4.8	6.00	(22)
その他ヨーロッパ	44.1	46.4	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.35	(51)
その他	59.8	33.4	4.5	2.4	0.0	0.0	0.0	6.50	(54)

(注1) 旅行先別については、1回の旅行につき、単一の旅行先(国・地域)を訪問したデータのみ。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している。  
(注2) 満足度指数: 大変満足(7点)~大変不満(1点)の7段階評価の平均値。再来訪意向指数: 大変そう思う(7点)~まったく思わない(1点)の7段階評価の平均値。  
■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い

図 I-3-3 旅行先(国・地域)別の満足度・再来訪意向



(単位：%)

旅行先	再来訪意向(5年以内)								再来訪意向指数	サンプル数
	大変そう思う	そう思う	やや思う	どうでもよい	あまり思わない	思わない	全く思わない			
2023年	42.6	26.4	12.6	9.6	5.2	2.7	1.0	5.80	(2,001)	
2019年	34.1	26.0	16.1	11.6	6.3	4.2	1.6	5.51	(4,559)	
韓国	51.7	25.6	11.1	6.8	2.9	1.2	0.8	6.10	(484)	
中国	40.4	31.9	10.1	12.5	2.3	0.0	2.9	5.84	(25)	
台湾	44.3	27.7	11.2	8.9	4.0	3.5	0.5	5.87	(260)	
香港・マカオ	24.9	34.1	10.5	20.2	5.7	4.5	0.0	5.39	(45)	
シンガポール	30.7	29.1	23.5	5.9	9.1	1.7	0.0	5.61	(66)	
インドネシア	39.9	36.0	10.8	4.7	5.7	2.9	0.0	5.91	(30)	
マレーシア	38.8	44.5	5.6	6.7	4.4	0.0	0.0	6.07	(23)	
タイ	52.7	23.8	14.2	6.1	2.8	0.5	0.0	6.16	(144)	
ベトナム	23.5	31.7	18.6	14.7	8.6	1.6	1.4	5.37	(72)	
フィリピン	44.1	31.1	10.0	4.9	2.5	2.5	4.9	5.82	(46)	
インドネシア(バリ)	17.7	22.9	31.8	12.9	14.6	0.0	0.0	5.16	(6)	
その他東南アジア	11.0	14.6	17.3	29.8	14.5	7.6	5.1	4.34	(25)	
オーストラリア・ニュージーランド	29.6	30.6	16.2	11.8	4.5	7.4	0.0	5.47	(57)	
南太平洋 (タヒチ・フィジー・ニューカレドニア等)	0.0	34.9	0.0	28.3	13.5	0.0	23.2	3.87	(5)	
ハワイ	62.4	26.7	7.7	2.7	0.6	0.0	0.0	6.48	(167)	
Guam・サイパン	30.9	25.6	14.5	12.1	13.8	0.0	3.0	5.36	(38)	
アメリカ合衆国本土	41.5	24.4	11.3	11.0	5.8	6.0	0.0	5.67	(105)	
カナダ	9.9	26.4	15.6	35.2	12.8	0.0	0.0	4.85	(14)	
フランス	46.8	25.3	2.4	8.7	16.8	0.0	0.0	5.77	(28)	
イギリス	37.8	5.7	25.0	13.0	11.6	6.9	0.0	5.24	(17)	
スペイン	33.5	23.1	13.6	11.4	3.9	14.5	0.0	5.27	(24)	
イタリア	50.3	17.7	14.0	11.8	3.9	2.4	0.0	5.92	(27)	
ドイツ	33.4	30.5	12.2	10.9	3.8	4.4	4.8	5.46	(22)	
その他ヨーロッパ	15.0	21.5	16.4	22.3	15.4	5.5	3.9	4.66	(51)	
その他	20.5	11.0	16.2	23.7	11.1	13.6	4.0	4.50	(54)	

資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」

**3** マーケットセグメント  
(同行者×ライフステージ) 別の旅行動向

ここでは、海外旅行(観光・レクリエーションを目的とする海外旅行)にしほり、日本人の海外旅行の実態を詳しく見ていく。なお、分析に用いた表はすべて「JTBF 旅行実態調査」(6ページ参照)による。

①マーケットセグメントと申し込み時期(表I-3-15)

旅行の申し込み時期は、全体で見ると旅行の「3～5か月前」(35.6%)、「1～2か月前」(28.2%)、「半年～1年前」(19.7%)の割合が大きくなった。

マーケットセグメント別に見ると、「ひとり旅」を除いて、「3～5か月前」の割合が最も高くなり、「ひとり旅」では「1～2か月前」が最も高くなった。

表 I-3-15 マーケットセグメント(同行者×ライフステージ)別の旅行申し込み時期

(単位：%)

マーケットセグメント	申し込み時期											サンプル数
	1年以上前	半年～1年前	3～5か月前	1～2か月前	3～4週間前	1～2週間前	4～6日前	2～3日前	出発前日	当日/出発後		
2023年	2.8	20.1	36.8	28.4	6.6	3.8	0.9	0.3	0.3	0.0	(1,973)	
2019年	2.7	22.2	37.7	25.8	7.2	2.9	0.8	0.5	0.2	0.1	(4,484)	
家族旅行	3.6	22.1	34.9	27.3	5.9	4.3	1.0	0.5	0.3	0.0	(466)	
乳幼児の子どもと一緒に家族旅行(小中高生を含まない)	2.8	27.3	40.6	15.4	2.8	6.1	1.9	3.1	0.0	0.0	(77)	
小中高生の子どもと一緒に家族旅行(乳幼児連れも含む)	5.1	20.6	35.0	31.2	5.2	2.2	0.4	0.0	0.5	0.0	(158)	
18歳以上のみの家族旅行	2.9	21.4	32.9	28.8	7.5	5.1	1.1	0.0	0.3	0.0	(231)	
3世代家族旅行*	5.5	29.0	37.1	18.8	3.9	3.0	0.6	0.6	1.5	0.0	(101)	
夫婦・カップル旅行	3.2	25.0	37.5	25.2	6.4	2.0	0.4	0.4	0.0	0.0	(654)	
カップルでの旅行	2.0	20.3	28.4	34.8	8.4	3.4	0.9	1.7	0.0	0.0	(142)	
夫婦での旅行(子どもなし)	3.6	29.3	38.5	20.1	6.4	1.7	0.5	0.0	0.0	0.0	(285)	
子育て中の夫婦での旅行(末子が18歳未満)	5.7	25.2	38.7	25.2	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(42)	
子育て後の夫婦での旅行(末子が18歳以上)	3.1	21.9	42.3	25.7	5.2	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	(185)	
友人旅行	1.0	16.8	40.3	30.5	5.9	3.6	1.3	0.0	0.5	0.0	(378)	
未婚男性による友人旅行	1.4	14.5	44.3	30.4	2.9	4.1	1.2	0.0	1.2	0.0	(88)	
既婚男性による友人旅行(子どもなし)	0.0	20.0	19.8	51.5	0.0	0.0	8.8	0.0	0.0	0.0	(10)	
子育て中の男性による友人旅行(末子が18歳未満)	2.9	22.3	27.2	33.4	3.2	10.9	0.0	0.0	0.0	0.0	(22)	
子育て後の男性による友人旅行(末子が18歳以上)	0.0	24.1	39.8	19.6	10.9	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	(23)	
未婚女性による友人旅行	1.1	16.0	38.6	32.9	6.7	2.8	1.5	0.0	0.5	0.0	(160)	
既婚女性による友人旅行(子どもなし)	0.0	16.9	43.2	20.0	10.5	6.9	2.5	0.0	0.0	0.0	(27)	
子育て中の女性による友人旅行(末子が18歳未満)	0.0	18.9	47.5	25.1	8.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(39)	
子育て後の女性による友人旅行(末子が18歳以上)	0.0	13.8	44.4	41.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(9)	
ひとり旅	3.3	14.7	32.0	32.5	8.7	6.4	1.4	0.2	0.6	0.2	(396)	
男性のひとり旅	4.4	17.1	29.2	33.4	8.5	4.0	2.4	0.3	0.5	0.3	(235)	
女性のひとり旅	1.6	11.2	36.1	31.2	9.0	10.0	0.0	0.0	0.8	0.0	(161)	

(注1) 表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している。

(注2) 「わからない」と回答したサンプルを除いて集計している。

\* 3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する

■ 全体の比率より15ポイント以上高い

■ 全体の比率より10ポイント以上高い

■ 全体の比率より5ポイント以上高い

資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」



②マーケットセグメントと出発月・出発日(表I-3-16)

全体としては、出発月は「3月」(12.2%)、「5月」(10.5%)、「10月」(8.8%)が多かった。

出発日を見ると、コロナ禍前の2019年と比べ、特に「月～木曜日」が10ポイント以上高くなっている中、「土曜日」が2019年と比較して6ポイント、「日曜・祝祭日」が4ポイント以上低くなっている。

また、「夏休み」、「ゴールデンウィーク」は、2019年よりやや少なくなっている。2019年時は、最大10連休程度となったゴールデンウィークや、その他連休が土曜日始まりであったことが影響していると考えられる(お盆休みは8月10日(土)から最大9連休、シルバーウィークは大型連休ではないものの9月14日(土)からの3連休及び9月21日(土)からの3連休、年末年始は12月28日(土)から最大9連休等)。

「家族旅行」では子どもの休みに旅行時期が影響される傾向にあり、特に「小中高生の子どもと一緒にの家族旅行(乳幼児連れも含む)」では、学校の「夏休み」(「8月」)に旅行に出掛ける割合が全体と比較して高い。

「夫婦・カップル旅行」では、「子育て中の夫婦での旅行(末子が18歳未満)」は「4月」、「7月」に出発する割合が全体と比較して5ポイント以上高くなっている。

「友人旅行」では性別や子どもの有無によって傾向が異なり、特徴的な点として、「既婚男性による友人旅行(子どもなし)」の出発月は「11月」と「12月」、出発日は「金曜日」の出発の割合が全体よりも15ポイント以上高くなった。また、「子育て中の女性による友人旅行(末子が18歳未満)」において、「6月」、「月～木曜日」の出発が全体より15ポイント以上高くなった。

表 I-3-16 マーケットセグメント(同行者×ライフステージ)別の出発月・出発日

(単位：%)

マーケットセグメント	出発月												出発日						サンプル数	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	夏休み ウィーク ゴールデン	年末年始	土曜日	日曜・祝祭日	月～木曜日	金曜日		
2023年	4.6	5.6	7.2	5.8	7.0	7.3	9.3	12.5	10.4	9.7	10.7	9.8	9.4	3.3	4.8	13.3	11.5	41.8	15.9	(2,001)
2019年	6.3	5.2	15.2	6.4	8.8	9.0	5.0	9.9	11.0	6.4	8.8	8.0	6.0	7.5	9.1	13.5	16.8	12.8	34.4	(4,559)
家族旅行	5.9	4.9	7.2	5.3	6.8	5.0	11.7	18.0	9.9	7.3	9.6	8.5	15.0	3.6	5.5	13.4	12.6	30.5	19.3	(476)
乳幼児の子どもと一緒にの家族旅行(小中高生を含まない)	6.3	7.6	3.7	5.1	7.5	2.5	20.1	17.1	8.9	6.9	9.4	4.8	15.3	4.7	7.0	13.9	21.4	24.7	12.9	(78)
小中高生の子どもと一緒にの家族旅行(乳幼児連れも含む)	5.8	3.7	8.7	4.0	9.4	3.6	9.2	27.0	5.8	3.4	7.6	11.8	23.8	5.4	7.0	12.1	10.2	21.1	20.3	(161)
18歳以上のみの家族旅行	5.8	4.7	7.4	6.2	4.7	6.7	10.6	12.1	13.0	10.2	11.0	7.6	9.0	2.0	4.0	14.1	11.4	38.9	20.8	(237)
3世代家族旅行*	7.9	6.9	7.0	3.2	7.9	7.9	14.8	13.6	5.9	8.7	12.4	3.8	13.6	5.6	3.6	13.5	16.3	20.9	26.5	(103)
夫婦・カップル旅行	4.8	5.2	6.1	5.5	8.0	8.4	9.9	11.1	11.9	9.8	9.1	10.1	7.7	3.6	5.7	14.0	10.6	44.6	13.9	(661)
カップルでの旅行	7.8	5.6	6.0	7.1	8.6	7.2	8.3	9.9	9.5	12.7	6.3	11.1	6.0	2.5	8.4	16.6	9.5	43.9	13.0	(143)
夫婦での旅行(子どもなし)	4.8	3.9	6.3	4.8	8.3	7.2	9.9	12.6	13.2	8.0	12.5	8.5	10.3	4.1	5.6	13.8	10.3	40.8	15.1	(287)
子育て中の夫婦での旅行(末子が18歳未満)	5.2	6.2	11.3	13.7	6.4	4.8	13.8	7.3	11.4	7.9	9.0	3.1	6.4	6.7	3.5	19.1	12.4	31.6	20.3	(45)
子育て後の夫婦での旅行(末子が18歳以上)	2.7	6.8	4.7	3.4	7.3	12.0	10.3	10.4	11.9	11.0	5.9	13.5	5.2	2.8	4.4	11.3	11.3	53.8	11.2	(186)
友人旅行	4.3	7.0	8.1	3.8	5.3	8.5	10.1	13.0	9.0	10.5	10.0	10.3	8.5	2.8	3.2	14.8	10.7	42.0	18.0	(384)
未婚男性による友人旅行	3.9	8.3	7.6	3.5	1.4	5.3	14.8	22.8	7.7	7.1	10.7	6.9	13.9	2.5	3.5	17.3	10.5	31.9	20.4	(88)
既婚男性による友人旅行(子どもなし)	7.3	8.8	6.0	0.0	13.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.3	39.1	0.0	13.5	0.0	16.1	0.0	39.1	31.3	(10)
子育て中の男性による友人旅行(末子が18歳未満)	13.3	4.0	13.6	7.5	3.1	4.6	0.0	14.0	10.9	0.0	11.4	17.7	0.0	6.8	21.0	4.6	2.7	45.6	19.3	(23)
子育て後の男性による友人旅行(末子が18歳以上)	6.1	7.3	7.4	3.4	8.4	8.3	9.6	12.8	0.0	4.6	10.5	21.6	0.0	0.0	0.0	11.2	16.1	60.3	12.4	(24)
未婚女性による友人旅行	3.1	6.8	9.0	3.0	6.5	6.0	9.8	12.9	11.6	12.0	9.1	10.2	10.6	3.0	2.8	15.3	10.4	40.8	17.1	(164)
既婚女性による友人旅行(子どもなし)	5.3	0.0	6.5	6.0	4.9	7.3	17.0	5.6	17.6	20.3	4.6	4.7	4.2	2.5	0.0	23.3	13.0	32.5	24.5	(27)
子育て中の女性による友人旅行(末子が18歳未満)	2.0	9.5	6.5	6.7	7.3	29.9	6.3	0.0	0.0	18.1	6.8	7.0	3.1	0.0	0.0	6.6	14.9	60.8	14.6	(39)
子育て後の女性による友人旅行(末子が18歳以上)	8.0	9.6	0.0	0.0	7.4	22.0	0.0	0.0	13.2	12.2	27.6	0.0	0.0	0.0	0.0	21.8	11.0	67.2	0.0	(9)
ひとり旅	3.5	6.2	8.7	9.0	7.0	7.7	5.6	8.2	9.2	10.2	13.5	11.2	6.9	3.6	4.4	10.3	11.5	47.6	15.6	(400)
男性のひとり旅	5.3	6.3	7.1	9.9	6.3	7.3	5.9	9.8	9.8	10.4	13.4	8.3	7.4	4.0	5.2	9.6	9.9	46.7	17.3	(237)
女性のひとり旅	0.9	6.1	10.9	7.8	8.0	8.2	5.1	5.8	8.3	9.8	13.5	15.5	6.3	3.1	3.3	11.4	13.9	49.1	13.0	(163)

(注)表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している。

\*3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する

■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い

資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」

③マーケットセグメントと旅行先での主な交通手段

(表I-3-17)

旅行先での主な交通手段は、先に見たものと傾向は同じで全体では「列車」(50.9%)、「タクシー・ハイヤー・その他配車サービス」(37.8%)、「路線バス」(26.0%)、「飛行機」(25.5%)の割合が高い。

「タクシー・ハイヤー・その他配車サービス」については、既婚男性の「友人旅行」での利用率が高く、加えて、乳幼児連れを除く家族旅行での利用が多い。

「列車」については「友人旅行」での利用率が高く、特に「子育て

後の女性による友人旅行(末子が18歳以上)」と「未婚女性による友人旅行」で全体よりも15ポイント以上高くなった。

「貸切バス・定期観光バス」は「子育て後の夫婦での旅行」や「子育て中の女性による友人旅行」での利用率が高く、「路線バス」は「子育て後の女性による友人旅行」や「男性のひとり旅」で利用される割合が高くなった。

そのほか、「レンタカー」については全体の利用率が10.3%と小さいものの、「既婚男性による友人旅行」や「3世代家族旅行」、「乳幼児の子どもと一緒にの家族旅行」で比較的需要があることがわかる。

表I-3-17 マーケットセグメント(同行者×ライフステージ)別の旅行先での主な交通手段(複数回答) (単位: %)

旅行先での主な交通手段	飛行機	列車(鉄道・地下鉄・路面電車・モノレール等)	レンタカー	貸切バス・定期観光バス	路線バス	観光客向けの巡回バス等	タクシー・ハイヤー・その他配車サービス	ウーバー(一般のドライバーが 自家用車を使用し行う ライドシェアリングサービス)	レンタサイクル	船(フェリー・観光船等)	その他	交通機関は利用しなかった	サンプル数
マーケットセグメント													
2023年	25.0	50.5	10.2	14.3	25.9	9.0	37.5	9.2	1.7	6.2	2.6	1.3	(2,001)
2019年	-	31.7	8.5	22.0	19.8	11.5	32.5	-	1.9	9.3	4.0	1.3	(4,559)
家族旅行	27.3	47.8	14.1	12.2	23.1	12.0	44.1	9.9	1.3	6.6	1.3	1.4	(476)
乳幼児の子どもと一緒にの家族旅行 (小中高生を含まない)	23.3	39.8	22.2	12.7	15.2	18.5	37.2	9.0	0.0	3.6	4.8	4.1	(78)
小中高生の子どもと一緒にの家族旅行 (乳幼児連れも含む)	33.0	39.3	17.2	12.7	20.0	12.5	45.7	10.9	1.9	8.3	0.4	1.7	(161)
18歳以上のみの家族旅行	24.7	56.4	9.2	11.7	27.8	9.4	45.4	9.5	1.4	6.5	0.7	0.3	(237)
3世代家族旅行*	29.7	32.9	22.9	14.4	28.2	13.2	45.4	11.6	1.9	5.3	3.6	0.0	(103)
夫婦・カップル旅行	26.1	40.8	11.9	19.3	21.7	11.0	35.5	10.9	2.0	7.3	2.3	1.7	(661)
カップルでの旅行	29.3	45.9	11.8	9.5	25.6	7.6	42.0	12.6	5.3	2.8	1.5	1.0	(143)
夫婦での旅行(子どもなし)	24.0	43.3	12.8	16.4	21.8	15.6	35.8	13.6	1.3	9.2	1.7	1.9	(287)
子育て中の夫婦での旅行 (末子が18歳未満)	46.8	31.7	10.7	8.2	21.3	9.1	28.8	2.9	1.7	2.8	0.0	3.9	(45)
子育て後の夫婦での旅行 (末子が18歳以上)	22.5	35.4	10.9	33.4	19.0	7.0	31.7	7.3	0.8	8.6	4.2	1.3	(186)
友人旅行	21.7	60.0	6.5	9.9	28.5	6.7	37.4	6.6	1.8	5.7	2.5	0.9	(384)
未婚男性による友人旅行	24.3	54.6	11.2	4.5	35.5	6.5	32.3	9.3	4.8	9.0	2.9	0.0	(88)
既婚男性による友人旅行 (子どもなし)	25.4	20.0	32.7	25.7	0.0	12.6	60.2	25.7	0.0	0.0	0.0	0.0	(10)
子育て中の男性による友人旅行 (末子が18歳未満)	29.0	54.8	8.6	0.0	21.2	3.3	50.5	15.6	7.0	11.8	3.8	3.8	(23)
子育て後の男性による友人旅行 (末子が18歳以上)	24.2	31.7	20.1	6.4	22.5	10.1	59.3	4.8	0.0	13.0	6.1	0.0	(24)
未婚女性による友人旅行	21.1	72.3	2.5	9.4	27.4	5.6	31.1	3.5	0.5	1.8	0.9	1.6	(164)
既婚女性による友人旅行 (子どもなし)	10.4	64.4	2.7	8.3	19.9	13.1	41.8	8.5	0.0	0.0	4.2	0.0	(27)
子育て中の女性による友人旅行 (末子が18歳未満)	22.3	41.7	0.0	29.2	35.6	6.9	49.4	4.6	0.0	10.8	5.2	0.0	(39)
子育て後の女性による友人旅行 (末子が18歳以上)	8.0	83.0	0.0	17.0	39.2	0.0	27.0	0.0	0.0	9.6	0.0	0.0	(9)
ひとり旅	23.9	57.2	5.8	10.6	34.3	4.3	32.0	8.0	2.1	5.8	4.8	0.8	(400)
男性のひとり旅	23.9	54.8	7.5	8.8	37.3	2.9	36.6	7.1	2.6	6.7	3.5	0.9	(237)
女性のひとり旅	23.9	60.6	3.3	13.2	30.0	6.3	25.2	9.4	1.3	4.6	6.8	0.7	(163)

(注)表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している。

\*3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する

■全体の比率より15ポイント以上高い

■全体の比率より10ポイント以上高い

■全体の比率より5ポイント以上高い

資料: (公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

④マーケットセグメントと最も楽しみにしていたこと(表I-3-18)

最も楽しみにしていたことについて全体では、先に見たものと傾向は同じで「おいしいものを食べること」(23.3%)が最も多く、次いで「文化的な名所を見ること」(13.7%)、「街や都市を訪れること」(12.2%)、「自然景観を見ること」(11.0%)の順で10%を超える割合となった。

セグメント別で見ると、「家族旅行」では「買い物をする事」や「自然景観を見ること」が他のセグメントと比較して高く、特に「乳幼児の子どもと一緒に家族旅行(小中高生を含まない)」では全体よりも高い傾向が出た。

「夫婦・カップル旅行」では「街や都市を訪れること」が他セグメントと比較してやや高くなった。

「友人旅行」では男性と女性で傾向が異なり、男性の友人旅行では「おいしいものを食べること」が他のセグメントに差をつけて高くなった。一方、女性の友人旅行では「おいしいものを食べること」や「買い物をする事」が比較的高く、「子育て後の女性による友人旅行(末子が18歳以上)」では「文化的な名所を見ること」が30.2%と顕著に高くなった。

「ひとり旅」では「文化的な名所を見ること」、「街や都市を訪れること」が他のセグメントより比較的高くなった。

表 I-3-18 マーケットセグメント(同行者×ライフステージ)別の旅行で最も楽しみにしていたこと (単位: %)

最も楽しみにしていたこと マーケティングセグメント	(史跡・寺社仏閣等)を見ること	文化的な名所	自然景観を見ること	観光文化施設(水族館や美術館・テーマパーク等)を訪れること	スポーツやアウトドア活動を楽しむこと	街や都市を訪れること	自然の豊かさを体験すること	地域の文化を体験すること	エステ・スパ・マッサージを受けること	おいしいものを食べること	買い物をする事	地域の祭りやイベント	帰省・冠婚葬祭関連・親族や知人訪問	目当ての宿泊施設に泊まること	芸術・音楽・スポーツ等の観劇・鑑賞・観戦	その他	サンプル数
2023年	14.1	11.0	5.9	5.1	12.4	3.9	3.0	2.5	23.3	7.2	1.0	3.2	1.8	2.6	2.9	(2,001)	
2019年	17.7	13.5	7.5	5.1	12.2	3.8	2.5	2.2	18.2	8.3	1.1	2.3	1.5	2.3	1.9	(4,559)	
家族旅行	11.8	11.9	7.8	7.4	8.9	4.9	2.3	2.2	26.4	6.8	1.4	2.8	2.3	1.1	2.1	(476)	
乳幼児の子どもと一緒に家族旅行(小中高生を含まない)	5.3	12.6	6.6	8.0	8.0	7.7	2.8	1.2	23.5	8.2	4.8	8.9	1.4	0.9	0.0	(78)	
小中高生の子どもと一緒に家族旅行(乳幼児連れも含む)	15.7	12.5	8.7	7.5	8.4	6.0	1.7	3.4	23.7	5.7	0.9	1.1	2.5	0.7	1.5	(161)	
18歳以上のみの家族旅行	11.3	11.3	7.6	7.0	9.5	3.3	2.6	1.6	29.1	7.1	0.6	1.9	2.4	1.3	3.2	(237)	
3世代家族旅行*	8.2	12.6	12.8	8.2	6.8	5.6	2.2	1.8	22.8	7.4	1.8	3.4	2.2	3.0	1.2	(103)	
夫婦・カップル旅行	14.0	13.8	5.6	4.4	15.9	4.8	2.8	1.3	20.6	5.7	0.9	2.0	2.6	1.8	3.7	(661)	
カップルでの旅行	11.2	8.7	7.0	5.9	13.0	3.4	1.1	2.4	32.6	3.9	0.9	1.8	1.1	4.0	2.9	(143)	
夫婦での旅行(子どもなし)	12.8	13.8	5.8	4.8	17.3	5.6	3.2	0.5	17.9	7.3	1.1	1.6	2.0	2.0	3.5	(287)	
子育て中の夫婦での旅行(末子が18歳未満)	21.1	11.1	5.5	6.5	10.6	4.6	4.7	5.1	18.4	6.6	0.0	2.9	3.0	0.0	0.0	(45)	
子育て後の夫婦での旅行(末子が18歳以上)	16.3	18.2	4.2	2.3	16.9	4.7	3.1	1.0	16.4	4.5	0.7	2.8	3.2	0.3	5.5	(186)	
友人旅行	14.3	6.1	6.5	5.2	9.4	2.7	3.9	3.9	26.7	13.4	0.3	1.9	0.4	4.3	1.0	(384)	
未婚男性による友人旅行	24.4	8.5	9.3	5.2	12.4	2.5	5.9	3.8	19.5	3.9	0.0	0.8	0.7	2.4	0.6	(88)	
既婚男性による友人旅行(子どもなし)	13.0	0.0	12.6	12.7	0.0	0.0	0.0	0.0	52.8	0.0	0.0	0.0	0.0	8.8	0.0	(10)	
子育て中の男性による友人旅行(末子が18歳未満)	24.6	0.0	8.4	9.8	10.0	0.0	0.0	3.3	31.4	2.7	0.0	0.0	3.8	0.0	5.9	(23)	
子育て後の男性による友人旅行(末子が18歳以上)	12.1	0.0	0.0	23.3	14.6	4.6	2.8	0.0	20.5	2.5	0.0	12.0	0.0	0.0	7.7	(24)	
未婚女性による友人旅行	9.1	8.1	5.4	1.7	10.8	3.8	4.0	4.3	27.9	18.1	0.0	0.5	0.0	6.3	0.0	(164)	
既婚女性による友人旅行(子どもなし)	2.2	8.7	0.0	0.0	4.7	0.0	0.0	6.7	34.2	28.3	0.0	10.7	0.0	4.4	0.0	(27)	
子育て中の女性による友人旅行(末子が18歳未満)	12.9	0.0	12.2	6.2	0.0	2.4	6.2	5.7	28.9	19.3	3.1	0.0	0.0	3.0	0.0	(39)	
子育て後の女性による友人旅行(末子が18歳以上)	30.2	0.0	0.0	12.2	0.0	0.0	0.0	0.0	24.8	24.8	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	(9)	
ひとり旅	16.1	10.7	3.1	4.0	15.0	2.4	3.1	3.5	21.3	3.9	1.1	7.4	1.6	4.7	2.1	(400)	
男性のひとり旅	18.4	10.9	3.9	5.2	17.7	2.4	1.7	2.4	19.9	4.1	0.8	4.4	1.4	4.5	2.3	(237)	
女性のひとり旅	12.7	10.4	2.0	2.2	11.0	2.4	5.2	5.3	23.4	3.5	1.6	12.0	1.8	4.9	1.6	(163)	

(注)表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している。

\*3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する

■全体の比率より15ポイント以上高い

■全体の比率より10ポイント以上高い

■全体の比率より5ポイント以上高い

資料: (公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」

⑤マーケットセグメントと宿泊施設(表I-3-19)

ホテル宿泊の割合が高いのはマーケットセグメントに限らず同様であるが、「家族旅行」や「夫婦・カップル旅行」では「リゾートホテル」の利用が、「友人旅行」では「ビジネスホテル」、「ひとり旅」では「ビジネスホテル」や「ゲストハウス・ドミト

リー」、「実家・親戚・知人宅」が、他のセグメントと比べて高い傾向である。

そのほか、「3世代家族旅行」では「別荘・リゾートマンション・会員制の宿泊施設」の利用率が他のセグメントよりも高くなった。

表I-3-19 マーケットセグメント(同行者×ライフステージ)別の宿泊施設(複数回答)

(単位：%)

マーケットセグメント	宿泊施設	ホテル			ペンション・B&B・ロッジ	オートキャンプ・キャンプ・別荘・リゾートマンション・会員制の宿泊施設	民泊	ゲストハウス・ドミトリー	実家・親戚・知人宅	その他	サンプル数		
		シティホテル	ビジネスホテル	リゾートホテル									
2023年		84.6	44.0	19.7	34.2	5.4	2.5	4.9	4.3	6.1	7.3	3.9	(2,001)
2019年		88.6	43.3	13.0	40.0	3.6	1.0	2.7	-	4.4	3.7	2.5	(4,559)
家族旅行		85.0	41.9	14.0	38.1	4.1	1.5	5.2	2.3	3.1	5.9	2.3	(476)
	乳幼児の子どもと一緒にの家族旅行(小中高生を含まない)	80.1	37.0	11.8	37.5	6.3	1.4	8.7	3.8	1.6	8.6	1.6	(78)
	小中高生の子どもと一緒にの家族旅行(乳幼児連れも含む)	84.1	39.9	13.1	41.4	4.3	2.1	4.4	1.2	4.6	6.6	2.9	(161)
	18歳以上のみの家族旅行	87.3	45.0	15.3	36.0	3.2	1.1	4.5	2.5	2.7	4.5	2.0	(237)
	3世代家族旅行*	78.3	35.1	14.8	41.3	8.5	4.0	12.4	3.8	2.9	8.0	2.6	(103)
夫婦・カップル旅行		86.4	41.5	12.7	46.6	4.7	1.7	4.2	3.4	2.4	4.6	4.3	(661)
	カップルでの旅行	81.4	41.7	10.7	37.8	8.1	2.7	5.0	5.8	4.0	4.1	2.2	(143)
	夫婦での旅行(子どもなし)	88.2	37.7	15.8	50.4	3.7	1.2	3.3	2.9	2.2	3.9	3.3	(287)
	子育て中の夫婦での旅行(末子が18歳未満)	92.9	45.1	20.9	47.4	4.5	6.2	4.5	6.1	3.1	3.1	3.1	(45)
	子育て後の夫婦での旅行(末子が18歳以上)	85.8	46.4	7.7	47.1	3.9	0.9	4.9	1.6	1.4	6.3	7.5	(186)
友人旅行		88.4	46.6	32.4	24.9	5.7	3.3	5.6	6.0	8.8	5.4	4.6	(384)
	未婚男性による友人旅行	88.3	41.8	40.0	24.2	4.8	6.4	8.0	11.1	8.8	5.6	6.1	(88)
	既婚男性による友人旅行(子どもなし)	91.2	38.7	32.6	32.5	0.0	0.0	0.0	0.0	8.8	0.0	0.0	(10)
	子育て中の男性による友人旅行(末子が18歳未満)	96.7	52.2	30.0	34.6	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	(23)
	子育て後の男性による友人旅行(末子が18歳以上)	96.4	55.4	28.3	30.4	2.5	0.0	9.8	0.0	7.7	0.0	3.6	(24)
	未婚女性による友人旅行	85.9	44.9	32.0	20.2	8.0	3.6	5.1	6.7	12.2	7.1	4.0	(164)
	既婚女性による友人旅行(子どもなし)	89.6	36.0	33.4	30.7	0.0	0.0	4.4	0.0	3.7	6.7	0.0	(27)
	子育て中の女性による友人旅行(末子が18歳未満)	88.0	60.2	22.6	35.9	6.1	2.7	5.4	5.0	2.7	2.7	12.9	(39)
	子育て後の女性による友人旅行(末子が18歳以上)	87.8	74.6	13.2	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	12.2	0.0	0.0	(9)
ひとり旅		76.4	45.8	24.6	19.7	8.2	4.3	5.6	7.0	13.3	16.3	4.3	(400)
	男性のひとり旅	81.3	46.4	27.4	19.9	8.6	2.5	4.3	6.6	11.0	11.0	2.9	(237)
	女性のひとり旅	69.1	44.9	20.6	19.5	7.5	6.9	7.4	7.7	16.7	24.2	6.4	(163)

(注)表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している。

\*3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する

■全体の比率より15ポイント以上高い

■全体の比率より10ポイント以上高い

■全体の比率より5ポイント以上高い

資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」

⑥マーケットセグメントと宿泊数(表I-3-20)

「ひとり旅」が最も宿泊数が多い傾向は国内旅行と同様である。平均宿泊数(概数)が最も多いのは「女性のひとり旅」の7.50泊であるが、これには帰省や親戚・知人の訪問のための渡航の割合が比較的高いことも影響していると考えられる。

「ひとり旅」に次いで、「子育て後の男性による友人旅行(末子が18歳以上)」では平均宿泊数は7.02泊、「子育て後の夫婦で

の旅行(末子が18歳以上)」では平均6.75泊となった。

「子育て中の夫婦での旅行(末子が18歳未満)」や「友人旅行」のうち「既婚男性による友人旅行(子どもなし)」、「子育て後の男性による友人旅行(末子が18歳以上)」を除き、比較的日数が少なくなる傾向が見られた。

(蛭澤俊典)

表 I-3-20 マーケットセグメント(同行者×ライフステージ)別の宿泊数

(単位：%) (単位：泊)

マーケットセグメント	宿泊数													平均宿泊数(概数)	サンプル数
	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8~9泊	10~13泊	14~20泊	21~27泊	28泊以上			
2023年	3.9	16.4	24.2	15.5	10.7	6.9	7.0	6.2	4.2	2.3	0.8	1.9	5.28	(2,001)	
2019年	3.1	15.6	25.1	14.7	10.0	7.9	9.0	7.1	3.8	1.6	0.5	1.6	5.16	(4,559)	
家族旅行	2.5	17.2	30.7	16.9	11.7	5.8	4.5	4.8	2.4	1.5	0.8	1.2	4.67	(476)	
乳幼児の子どもと一緒にの家族旅行(小中高生を含まない)	0.0	18.7	32.9	13.1	15.4	6.2	2.2	1.9	0.0	5.3	2.7	1.6	5.35	(78)	
小中高生の子どもと一緒にの家族旅行(乳幼児連れも含む)	5.7	14.2	34.1	14.6	9.6	4.4	5.9	5.6	2.5	1.9	0.0	1.5	4.60	(161)	
18歳以上のみの家族旅行	1.1	18.8	27.5	19.8	11.9	6.7	4.3	5.2	3.2	0.0	0.6	0.8	4.49	(237)	
3世代家族旅行*	2.6	13.5	29.8	13.9	18.5	8.4	3.8	4.7	2.6	1.3	0.0	1.1	4.67	(103)	
夫婦・カップル旅行	3.7	10.6	22.0	18.7	11.2	9.1	7.3	9.0	4.3	2.2	0.5	1.5	5.44	(661)	
カップルでの旅行	7.3	17.5	27.9	17.5	7.6	7.3	5.9	5.3	1.7	2.0	0.0	0.0	4.18	(143)	
夫婦での旅行(子どもなし)	1.9	9.7	22.3	21.0	11.7	8.4	8.3	8.4	5.0	2.3	0.0	1.3	5.40	(287)	
子育て中の夫婦での旅行(末子が18歳未満)	10.2	20.7	28.8	17.2	12.0	6.4	2.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	3.82	(45)	
子育て後の夫婦での旅行(末子が18歳以上)	2.3	4.6	15.9	16.3	12.9	12.3	8.0	14.5	6.3	2.7	1.0	3.2	6.75	(186)	
友人旅行	5.1	28.4	24.6	10.5	8.5	5.6	7.2	3.8	3.8	1.2	0.4	0.8	4.32	(384)	
未婚男性による友人旅行	7.0	21.6	24.1	14.1	11.3	10.6	4.9	2.9	2.7	0.0	0.8	0.0	4.08	(88)	
既婚男性による友人旅行(子どもなし)	0.0	0.0	52.8	0.0	6.7	13.0	14.8	0.0	0.0	12.6	0.0	0.0	5.89	(10)	
子育て中の男性による友人旅行(末子が18歳未満)	3.3	30.6	23.8	14.3	12.9	2.7	9.7	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	3.73	(23)	
子育て後の男性による友人旅行(末子が18歳以上)	0.0	12.9	9.0	4.2	15.2	10.5	14.4	12.2	14.3	7.3	0.0	0.0	7.02	(24)	
未婚女性による友人旅行	7.0	34.7	22.3	12.4	7.3	3.3	3.5	2.5	3.9	0.9	0.4	1.9	4.18	(164)	
既婚女性による友人旅行(子どもなし)	0.0	30.3	48.2	6.5	0.0	2.7	8.1	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.40	(27)	
子育て中の女性による友人旅行(末子が18歳未満)	2.7	23.9	25.2	3.1	9.2	3.1	19.0	8.7	5.0	0.0	0.0	0.0	4.68	(39)	
子育て後の女性による友人旅行(末子が18歳以上)	0.0	62.8	12.2	0.0	0.0	0.0	17.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.49	(9)	
ひとり旅	5.1	13.4	19.4	13.4	12.0	5.8	8.3	5.4	6.0	4.1	2.2	4.9	6.72	(400)	
男性のひとり旅	3.5	12.2	21.5	16.1	13.3	4.8	9.5	5.6	5.4	2.5	1.6	4.0	6.20	(237)	
女性のひとり旅	7.5	15.1	16.2	9.3	10.2	7.1	6.5	5.1	7.0	6.5	3.1	6.4	7.50	(163)	

(注)表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している。

\*3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する

■全体の比率より15ポイント以上高い

■全体の比率より10ポイント以上高い

■全体の比率より5ポイント以上高い

■平均宿泊数が全体平均値より0.5泊以上多い(平均宿泊数については、28泊以上は28泊と仮定して算出)

資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」